

# 平成23年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

平成25年3月

広島県教育委員会

## 例 言

- 1 本書は、広島県教育委員会が、平成23年度に国庫補助を受けて実施した県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）事業に係る調査成果の報告書である。
- 2 本事業は、道路建設・住宅建設・農業基盤整備等、今後急速に開発が進展すると予想される地域及び既に開発計画が立案されている地域について、遺跡の分布調査（現地踏査及び試掘・確認調査）を行い、保存対策に資する目的で実施したものである。  
具体的には、①大規模開発事業・広域開発事業・重要遺跡の取扱いなど、市町教育委員会（以下「市町教委」という。）が単独で対応することが困難な業務への対応、②専門職員未配置の市町教委に対する指導・助言・援助の観点から、各開発事業者等あるいは市町教委からの協議に基づいて県内各地の開発計画地内の現地踏査や試掘・確認調査を実施し、埋蔵文化財包蔵地の有無、範囲、内容等の確認を行うとともに、保存方法に関する協議を行った。
- 3 試掘地点範囲図・試掘坑配置図の原図は、各開発事業者から提供された地形図・工事平面図を使用した。  
なお、工事平面図については、原則として試掘当時のものを使用しているため、図中の開発事業範囲や工事設計等は、その後変更されている場合がある。
- 4 本事業に係る現地調査から報告書作成に至る業務は、広島県教育委員会事務局管理部文化財課が行った。恵谷泰典（課長補佐兼埋蔵文化財係長）・渡邊昭人（指導主事）・沖憲明（指導主事）が、平成23年度に現地調査及び所見作成を行い、平成24年度に資料整理及び報告書編集作業を行った。
- 5 調査の実施に当たっては、各開発事業者、地権者及び関係市町文化財保護担当部局等の協力を得た。
- 6 本報告書作成に係る資料類については、図面・写真類は広島県教育委員会事務局管理部文化財課（広島市中区基町9番42号）、出土遺物は広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区観音新町四丁目8番49号）で保管している。

## 目 次

第1章 事業の概要 .....	1
第2章 試掘・確認調査の成果 .....	4
1 中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る試掘調査（要試掘地点甲山No.17） .....	4
2 国営備北丘陵公園整備事業に係る試掘調査 .....	8
3 一般県道内海三津線道路改良工事に係る試掘調査（要試掘地点No.2及びNo.4） .....	18
4 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線整備に係る試掘調査.....	29
5 送電線増強工事に係る試掘調査（福山市教育委員会及び府中市教育委員会と共同実施）	33
6 店舗建設に係る試掘調査（江田島市教育委員会を支援）.....	34
7 砂利採取事業に係る試掘調査（山県郡安芸太田町津浪，安芸太田町教育委員会を支援） .....	35
8 砂利採取事業に係る試掘調査（山県郡安芸太田町香草，安芸太田町教育委員会を支援） .....	36
報告書抄録 .....	巻末

## 挿 図 目 次

第1図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17位置図（1：25,000） .....	4
第2図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 試掘坑位置図 （1：1,000） .....	5
第3図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 1 T～4 T土層略測 （柱状）図（1：50）.....	6
第4図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 5 T～7 T土層略測 （柱状）図（1：50）.....	7
第5図 国営備北丘陵公園整備事業地内試掘地点位置図（1：25,000） .....	8
第6図 田淵池改修工事計画地内試掘地点 試掘坑位置図（1：1,500） .....	9

第7図	国営備北丘陵公園整備事業地内試掘地点 土層略測（柱状）図（1：50）	12
第8図	日の本池改修工事計画地地点 試掘坑位置図（1：1,500）	13
第9図	二本木山遺跡 SK2略測図（1：30）	14
第10図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2及びNo.4位置図 （1：25,000）	18
第11図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 試掘坑位置図 （1：1,000）	19
第12図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 試掘坑土層略測 （柱状）図（1：50）	20
第13図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4隣接地採集遺物 （2：3）	23
第14図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 試掘坑位置図 （1：1,000）	24
第15図	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 試掘坑土層略測 （柱状）図（1：50）	26
第16図	広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 要試掘 地点位置図（1：25,000）	29
第17図	広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 試掘坑 位置図（1：2,000）	30
第18図	広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 試掘坑 土層模式（柱状）図（1：50）	32
第19図	送電線整備に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	33
第20図	店舗敷地造成に係る試掘調査地点位置図（1：25,000）	34
第21図	砂利採取事業に係る試掘調査地点（山県郡安芸太田町大字津浪）位置図 （1：25,000）	35
第22図	砂利採取事業に係る試掘調査地点（山県郡安芸太田町大字加計）位置図 （1：25,000）	36

## 表 目 次

表1	平成23年度に確認した埋蔵文化財包蔵地	1
表2	平成23年度に実施した現地踏査の概要	1～2
表3	平成23年度に実施した試掘調査の概要	3
表4	中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 各試掘坑所見（1）	6
表5	中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 各試掘坑所見（2）	7
表6	田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第1号古墳近接地 試掘坑所見	10

表7	田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第3号古墳近接地	試掘坑所見	11
表8	日の本池改修工事計画地内	試掘坑所見	14
表9	二本木山遺跡検出遺構一覽表		14
表10	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2	各試掘坑所見	21
表11	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4	各試掘坑所見	25
表12	広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内	各試掘坑所見	30

## 図版目次

図版1	田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第1号古墳近接地	試掘坑近景・土層断面	10
	a 試掘坑近景(南西から)	b 土層断面	
図版2	田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第3号古墳近接地	試掘坑近景・土層断面	11
	a 試掘坑近景(南西から)	b 土層断面(北東から)	
図版3	国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地	調査状況(1)	15
	a 遠景(南西から)	b 調査前近景(南から)	
	c SK1付近調査状況(北から)		
図版4	国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地	調査状況(2)	16
	a SK4付近調査状況(北から)		
	b SK2, SK7, SK8付近調査状況(北西から)		
	c SK1検出状況(南西から)	d SK1断面(北西から)	
図版5	国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地	調査状況(3)	17
	a SK2検出状況(北東から)	b SK2断面(南西から)	
	c SK4検出状況(北東から)	d SK5検出状況(南から)	
	e SK6検出状況(南西から)	f SK7検出状況(南西から)	
	g SK8検出状況	h 2T土層	
図版6	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2	調査状況(1)	21
	a 1T調査状況(北西から)	b 2T調査状況(南から)	
図版7	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2	調査状況(2)	22
	a 3T調査状況	b 4T調査状況(南から)	
	c 5T調査状況(南から)	d 5T土層(南から)	
	e 6T調査状況(南西から)	f 6T土層(北西から)	
	g 7T調査状況(北東から)	h 8T調査状況(北東から)	
	i 8T土層(南から)		
図版8	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4	採集遺物(約2:3)	23
図版9	一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4	調査状況(1)	27
	a 1T調査状況	b 1T土層	c 2T調査状況

d	3 T 調査状況	e	3 T 土層	f	4 T 調査状況
g	5 T 調査状況	h	5 T 土層	i	6 T 調査状況
j	7 T 調査状況	k	7 T 土層		

図版10 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 調査状況(2) ..... 28

a	8 T 調査状況	b	8 T 土層	c	9 T 調査状況
d	9 T 土層	e	10 T 調査状況	f	10 T 土層
g	11 T 調査状況	h	11 T 土層	i	12 T 調査状況
j	12 T 土層	k	13 T 調査状況		

図版11 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内試掘地点  
近景及び各試掘坑土層 ..... 31

a	調査対象地近景(北から)	b	11 T 土層	c	12 T 土層
d	13 T 土層				

図版12 市町支援試掘調査地 調査状況 ..... 37

a	店舗敷地造成に係る試掘調査(江田島市教育委員会支援)対象地近景 (北西から)
b	同 土層
c	砂利採取事業に係る試掘調査(安芸太田町教育委員会支援, 大字津浪) 対象地近景
d	同 土層
e	砂利採取事業に係る試掘調査(安芸太田町教育委員会支援, 大字加計) 対象地近景
f	同 土層

### 試掘坑位置図 凡例



- 試掘坑
- 確認した遺構
- 試掘調査により確認した、埋蔵文化財包蔵地の範囲
- 試掘調査の結果、埋蔵文化財包蔵地ではないと確認した範囲
- 試掘調査未了範囲
- 既周知の埋蔵文化財包蔵地範囲

# 第1章 事業の概要

## 平成23年度に実施した分布調査の概要について

平成23年度に実施した、道路建設・住宅建設・農業基盤整備等の各種開発事業に先立つ現地踏査や現地協議等は、表2に掲げた24件である。

また、平成23年度に実施した試掘・確認調査は、表3にあげた8事業15地点、合計20,593㎡である（市町教育委員会の支援分を含む）。

これらの分布調査の結果、表1に掲げた1箇所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。

試掘・確認調査の内容や確認した埋蔵文化財包蔵地の範囲等の詳細については、次章に記載する。

表1 平成23年度に確認した埋蔵文化財包蔵地

遺跡名	市町名	時代	種類	面積(㎡)	確認方法	開発事業種類	備考※
二本木山遺跡	庄原市	縄文	その他の遺跡 (落し穴)	4,100	試掘調査	公園整備	新規

※ 「備考」覧の「新規」は新たに埋蔵文化財包蔵地を確認したことを示す。

表2 平成23年度に実施した現地踏査の概要

No.	調査地	調査原因	原因者	調査期間	担当者	調査概要及び結果
1	三次市十日市西六丁目	中国横断自動車道尾道松江線建設	国土交通省	7/7	恵谷渡邊	開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
2	安芸郡府中町みくまり三丁目	住宅新築	個人	7/12・13	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応（試掘調査）を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
3	大竹市御園一丁目	宅地造成	民間企業	7/14 7/19～22 7/26・27	恵谷(7/26) 沖(7/22) 渡邊(その他)	専門職員未配置市町における開発事業対応（既存建物基礎撤去作業を兼ねた遺構確認・試掘）を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
4	安芸高田市吉田町	甲立古墳発掘調査	安芸高田市教育委員会	8/10	恵谷	重要遺跡取扱い協議。
5	府中市 本山町・ 荒谷町 福山市 新市町	特別高圧送電線増強工事	民間企業	8/30	恵谷渡邊	複数市にまたがる大規模開発事業計画地の踏査を実施。要試掘地点2箇所を確認した。
6	庄原市中本町一丁目	佐田峠・佐田谷墳墓群発掘調査	庄原市教育委員会	8/31	恵谷	重要遺跡取扱い協議。
7	竹原市塩町四丁目	宅地造成	民間企業	9/6	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応（現地踏査）を支援。開発事業地の試掘調査が必要と判断した。

8	安芸郡坂町坂東三丁目	総合流域防災事業 (急傾斜地崩壊対策工事) 計画地	広島県	9/14	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(工事中の埋蔵文化財有無等確認作業)を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
9	江田島市大柿町	住宅建築	個人	9/26	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
10	山県郡安芸太田町香草	砂利採取	民間企業	10/6	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(現地踏査)を支援。開発事業地の試掘調査が必要と判断した。
11	竹原市忠海町	宅地造成	個人	10/11~13	渡邊	周知の埋蔵文化財包蔵地「長浜遺跡」の地下遺構の分布状況等を把握するための確認調査を実施(竹原市教育委員会と共同実施)。製塩土器1点を表面採集したが、遺構は確認できず、工事範囲に記録保存すべき物件はないと判断した。
12	竹原市田万里町	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金 (基盤整備) 上田万里地区	竹原市	10/18~ 10/21 10/24~ 10/28	渡邊 渡邊・沖	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
13	安芸郡熊野町萩原二丁目	宅地造成	民間企業	11/8 11/9午前	沖	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
14	山県郡安芸太田町津浪	砂利採取	民間企業	11/9午後	沖	専門職員未配置市町における開発事業対応(現地踏査)を支援。開発事業地の試掘調査が必要と判断した。
15	安芸高田市甲田町	甲立古墳発掘調査	安芸高田市教育委員会	11/30	沖	重要遺跡取扱い協議。
	庄原市宮内町	佐田峠・佐田谷墳墓群発掘調査	庄原市教育委員会			
	神石郡神石高原町永野	帝釈観音堂洞窟遺跡発掘調査	広島大学	12/1	恵谷 沖	
	府中市元町	備後国府跡関連遺跡発掘調査	府中市教育委員会			
16	竹原市塩町四丁目	宅地造成	民間企業	12/12~ 12/16	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財包蔵地は認められず。
17	東京都	各種発掘調査		1/11・12	沖	重要遺跡取扱い協議。
18	三次市三良坂町	中国横断自動車道尾道松江線建設	国土交通省	1/12	渡邊	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
19	福山市神辺町	国道313号道路改良	広島県	1/27	渡邊	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
20	三次市三良坂町	中国横断自動車道尾道松江線建設	国土交通省	1/31	渡邊	大規模開発事業計画地内の埋蔵文化財取扱い協議
21	広島市西区			2/10	沖	試掘調査出土品整理
22	安芸高田市吉田町	甲立古墳発掘調査	安芸高田市教育委員会	2/21	沖	重要遺跡取扱い協議。
23	竹原市	携帯電話基地局建設	民間企業	3/8	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財は認められず。
24	竹原市	携帯電話基地局建設	民間企業	3/9	渡邊	専門職員未配置市町における開発事業対応(試掘調査)を支援。埋蔵文化財は認められず。

表3 平成23年度に実施した試掘調査の概要

No	調査地	調査原因	原因者	調査対象面積 (㎡)	調査期間	担当者	調査の結果
1	世羅郡世羅町 東上原	中国横断自動車道尾道松江線建設	国土交通省福山河川国道事務所	1,100	11/15～17 (準備9/22)	渡邊	1地点の試掘調査を実施。埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
2	庄原市七塚町 ・上原町	国営備北丘陵公園整備	国土交通省三次河川国道事務所	4,450	8/22 8/31・9/1 9/28・29 (準備8/19)	渡邊	3地点の試掘調査を実施。埋蔵文化財包蔵地1箇所を確認した。(確認した埋蔵文化財包蔵地)・二本木山遺跡(縄文時代, 落とし穴, 4,100㎡)
3	呉市安浦町	一般県道内海三津線道路改良工事	広島県西部建設事務所呉支所	6,700	12/19～22 1/16～20 (準備7/26・10/17)	渡邊	2地点の試掘調査を実施。埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
4	廿日市市駅前	広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線	広島県西部建設事務所廿日市支所	700	8/22～24	沖	1地点の試掘調査を実施した。埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。
5	府中市 本山町・ 荒谷町 福山市 新市町	送電線建設	民間企業	(4,000)	2/20～24 2/27	渡邊	5箇所の試掘調査を実施した。埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。 ※ 府中市教育委員会・福山市教育委員会と共同実施。県教委は、技術指導等を行う埋蔵文化財担当職員職員及び、試掘・記録作業の補助に充てる作業員の一部を提供。
6	江田島市 大柿町	店舗敷地造成	民間企業	(7,382)	9/7～9	渡邊	1地点の試掘調査を実施した。埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。 ※ 江田島市教育委員会を支援。県教委は、技術指導等を行う埋蔵文化財担当職員及び作業用の重機を提供。
7	山県郡安芸太田町大字津浪	砂利採取	民間企業	(7,504)	11/28～30	渡邊	1地点の試掘調査を実施した。埋蔵文化財包蔵地は認められなかった。 ※ 安芸太田町教育委員会を支援。県教委は、技術指導等を行う埋蔵文化財担当職員及び作業用の重機を提供。
8	山県郡安芸太田町大字加計	砂利採取	民間企業	(1,707)	11/15・16	沖	1地点の試掘調査を実施した。埋蔵文化財包蔵地は認められなかった。 ※ 安芸太田町教育委員会を支援。県教委は、技術指導等を行う埋蔵文化財担当職員及び作業用の重機を提供。
合計		4事業 (8事業)		12,950 (20,593)			7地点(15地点)の試掘調査を実施、埋蔵文化財包蔵地1箇所を確認。

※「合計」の項のカッコ内は、市町教育委員会の支援として実施した試掘調査の実績をあわせた値。

## 第2章 試掘・確認調査の成果

### 1 中国横断自動車道尾道松江線建設事業に係る試掘調査（要試掘地点甲山No.17）

所在地：世羅郡世羅町東上原

開発事業者：国土交通省中国地方整備局福山河川国道事務所

調査期間：平成23年11月15日から平成23年11月17日まで

調査対象面積：1,100m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

先に実施した地表面観察の結果、地形から、墳墓あるいは集落跡等の存在が予想されたため、埋蔵文化財包蔵地の有無等を確認するため試掘調査を実施した。試掘坑は7箇所設定し（以下、発掘順に「1～7 T」と呼称する）、発掘作業は重機により行った。基本層序は次のとおりである。

第Ⅰ層 腐植土層。灰黄褐色（H10YR5/2）シルト。

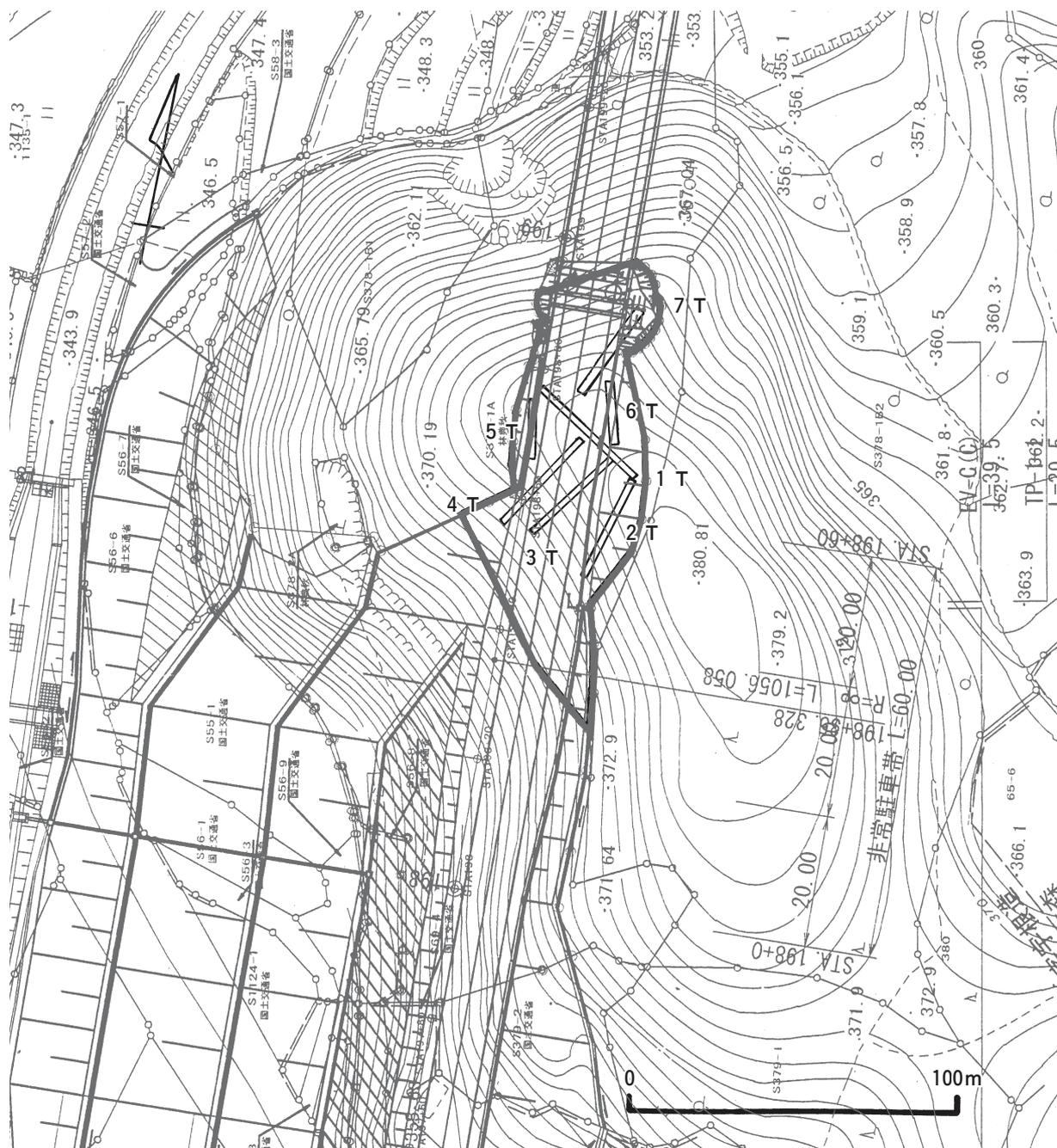
第Ⅱ層 第Ⅲ層の再堆積土。丘陵山腹斜面にのみ認められた。層相は場所によって異なり、にぶい赤褐色（H5YR5/4）細砂・にぶい黄褐色（H10YR6/4）細砂・にぶい褐色（H7.5YR6/3）シルト・灰黄色（H2.5Y6/2）シルトである。



第1図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17位置図  
（国土交通省国土地理院発行 1：25,000地形図「本郷」図幅を使用）

第Ⅲ層 基盤層。明赤褐色・浅黄色・橙色などのシルトあるいは砂。部分的に灰色岩片を含む。  
遺構の有無を確認する作業は、第Ⅱ層上面及び第Ⅲ層上面で実施したが、遺構・遺物とも確認できなかったことから、当地点に埋蔵文化財包蔵地は存在しないと判断した。

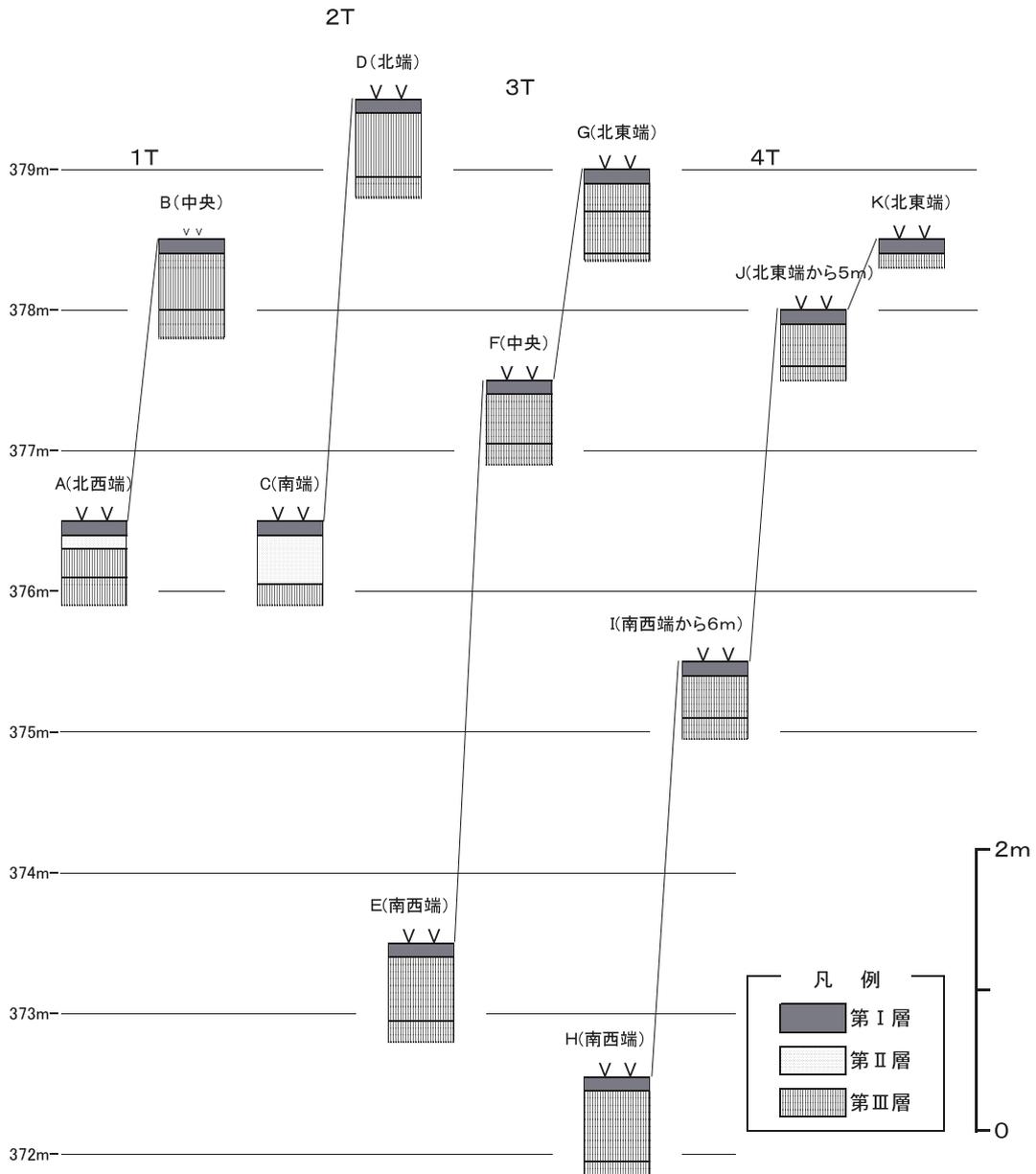
なお、中国横断自動車道尾道松江線建設事業計画地内では、当地を含めて185箇所の要試掘地点を確認していたが、当地の試掘調査により全地点の試掘調査が完了した。



第2図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 試掘坑位置図 (1 : 1,000)

表4 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 各試掘坑所見(1)

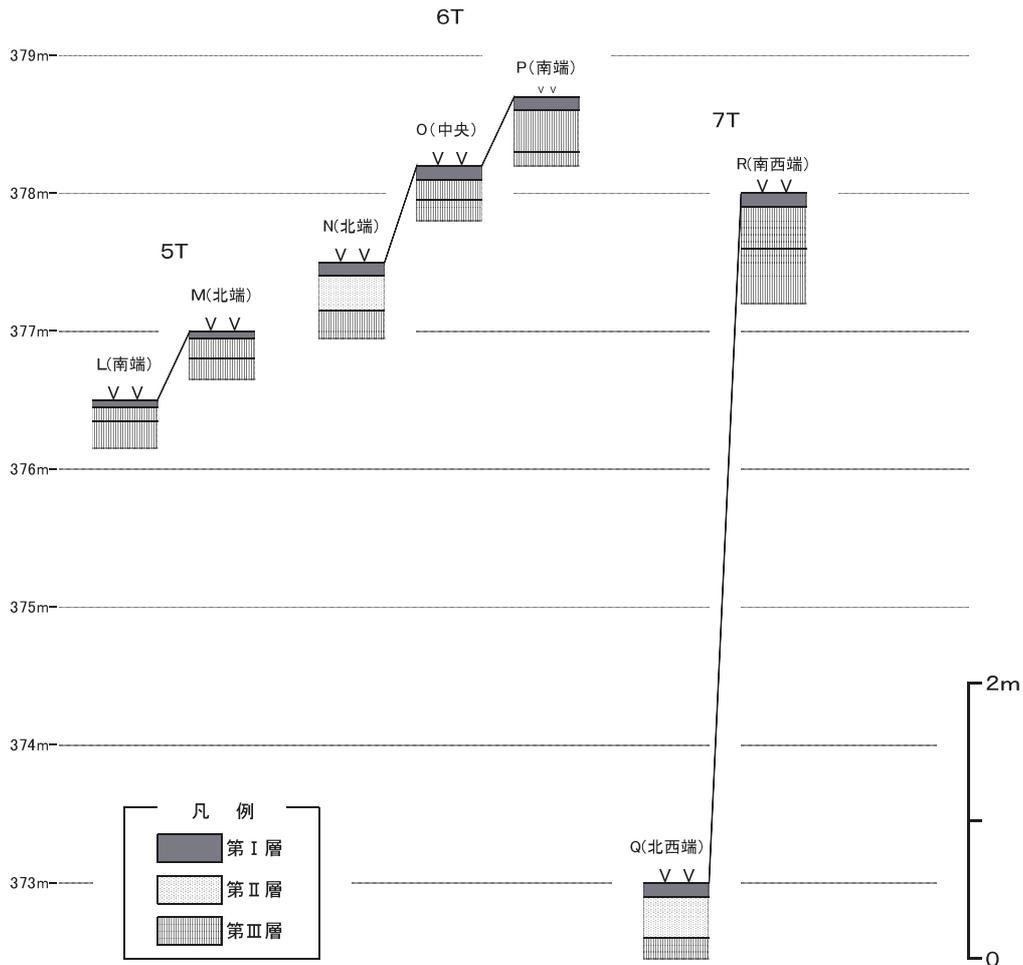
トレンチNo.	試掘坑大きさ	調査所見(※各試掘坑とも遺構・遺物は確認できず)
1 T	長21m 幅1.5m 深0.5 ~0.6m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約10cm。 第 II 層 におい黄橙色 (H10YR6/4) 細砂。斜面下方のみ堆積, 最大厚さ約10cm。 第 III 層 斜面上方では明赤褐色 (H5YR5/6) シルト, 斜面下方では浅黄色 (H2.5Y7/4) ~浅黄橙色 (H10YR8/4) 砂。厚さ約40cm程度まで確認。
2 T	長17m 幅1.5m 深0.6m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約10cm。 第 II 層 におい赤褐色 (H5YR5/6) 細砂。斜面下方のみ堆積, 最大厚さ約35cm。 第 III 層 斜面上方では明赤褐色 (H5YR5/6) シルト~浅黄色 (H2.5Y7/4) 細砂, 斜面下方では橙色 (H7.5YR6/6) 砂。厚さ約50cm程度まで確認。



第3図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 1 T ~ 4 T 土層略測(柱状)図(1:50)  
(標高値は地形図等高線等から割り出した概数のため、実際と数10cmずれている可能性がある。)

表5 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 各試掘坑所見(2)

トレンチNo.	試掘坑大きさ	調査所見(※各試掘坑とも遺構・遺物は確認できず)
3 T	長16m 幅1.5m 深0.7m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約10cm。 第 III a 層 斜面上方では浅黄色 (H2.5Y7/4) シルト, 斜面下方ではにぶい橙色 (H7.5YR6/4) シルト。厚さ約20~45cm。 第 III b 層 浅黄色 (H2.5Y7/4) シルト。明青灰色をおびる部分が多い。厚さ約35cm程度まで確認。
4 T	長18m 幅1.5m 深0.6m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約5~10cm。 第 III 層 明黄褐色 (H5YR5/6) シルト。斜面下方では上位ににぶい黄橙色 (H10YR6/4) シルトが認められる。厚さ約50cm程度まで確認。
5 T	長8.5m 幅1.5m 深0.5m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約5cm。 第 III 層 斜面上方では浅黄色 (H2.5Y7/4) シルト~浅黄橙色 (H10YR8/4) 砂, 斜面下方では橙色 (H5YR6/6) シルトが認められる。厚さ約45cm程度まで確認。
6 T	長10.5m 幅1.5m 深0.5m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約10cm。 第 II 層 にぶい褐色 (H7.5YR6/3) シルト。斜面下方のみ堆積, 最大厚さ約25cm。 第 III 層 北寄りにはにぶい黄色 (H2.5Y6/3) シルト, 中央部は橙色 (H5YR6/6) ~明赤褐色 (H5YR5/6) シルト, 南寄りは浅黄色 (H2.5Y7/4) シルト。厚さ約45cm程度まで確認。
7 T	長16m 幅1.5m 深0.8m	第 I 層 灰黄褐色 (H10YR5/2) シルト。厚さ約10cm。 第 II 層 灰黄色 (H2.5Y6/2) シルト。斜面下方のみ堆積, 最大厚さ約30cm。 第 III 層 緑灰色 (H10G6/1) 岩盤。マトリックスは黄色 (H2.5Y8/6)。斜面上方では上位ににぶい黄橙色 (H10YR6/3) シルトが認められる。厚さ約70cm程度まで確認。



第4図 中国横断自動車道尾道松江線 要試掘地点甲山No.17 5 T ~ 7 T 土層模式図 (1:50)  
(標高値は地形図の等高線等から割り出した概数のため, 実際とは数10cm程度ずれている可能性がある。)

## 2 国営備北丘陵公園整備事業に係る試掘調査

3地点の試掘調査を実施した。各試掘地点は近接しており、層序も共通するため、次の基本層序に沿って記述する。

第Ⅰa層 腐植土

第Ⅰb層 黒色シルト。いわゆるクロボク。

第Ⅰc層 褐灰色～黒褐色シルト。脱色したクロボク。しまりなし。

第Ⅱ層 にぶい黄橙色砂。やや粘性あり、しまり弱い。二本木山遺跡の遺構検出面。熊野清水山第1号古墳近接地及び熊野清水山第3号古墳近接地では、次の2層に細分可能。

第Ⅱa層 浅黄色細砂。しまりなし。

第Ⅱb層 暗灰黄色細砂～にぶい黄橙色細砂。しまりなし。

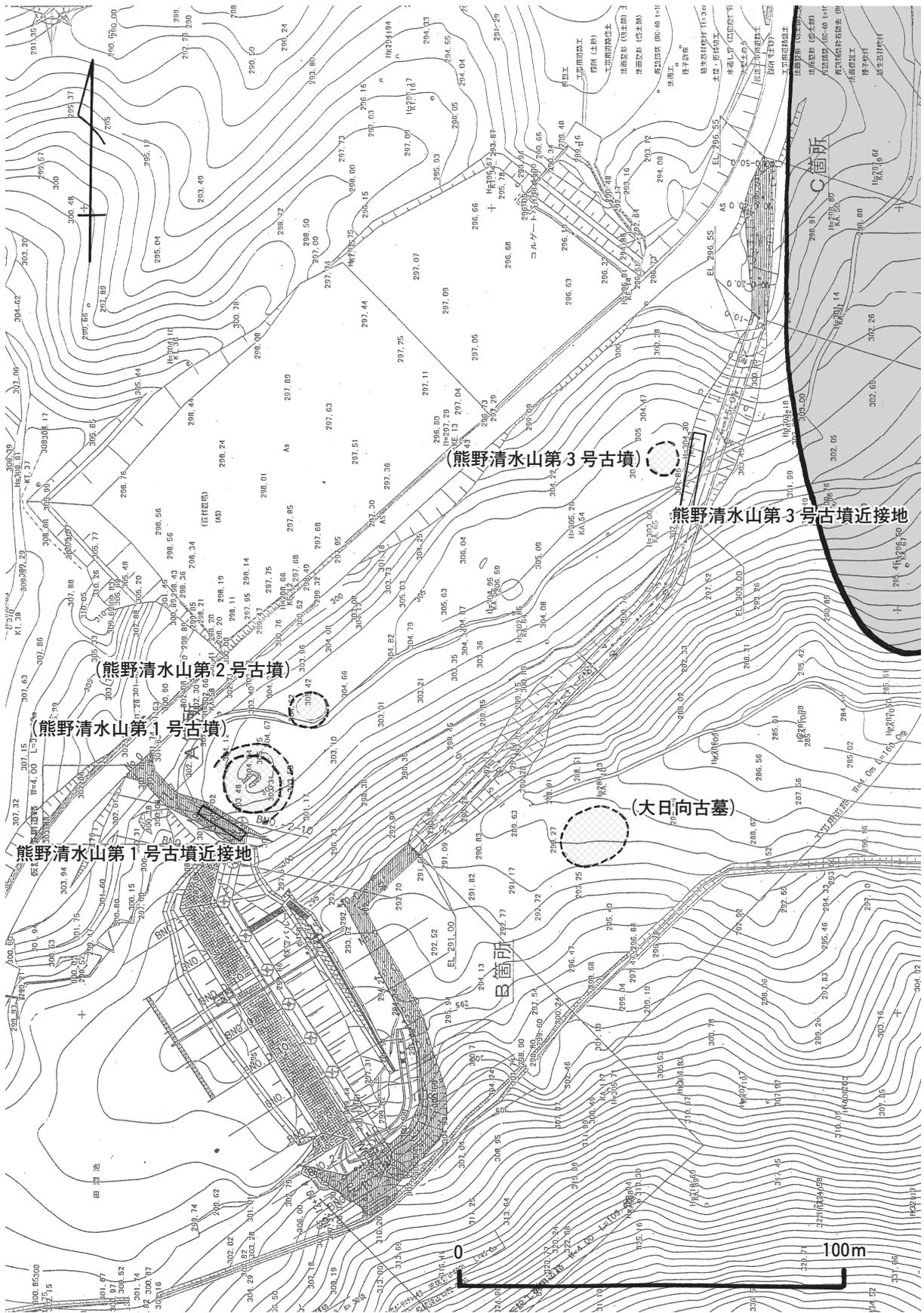
第Ⅲ層 明黄褐色～黄色砂。しまり弱い。熊野清水山第1号古墳近接地では礫を多く含み、深くなるほど白みを帯びる。

第Ⅳa層 浅黄色シルト～粘土。柔らかい礫を多く含む。

第Ⅳb層 橙色シルト～粘土。しまりあり。柔らかい礫を多く含む



第5図 国営備北丘陵公園整備事業地内試掘地点位置図  
(国土交通省国土地理院発行 1:25,000地形図「三良坂」「稲草」「永田」「庄原」図幅を使用)



第6図 田淵池改修工事計画地内試掘地点 試掘坑位置図 (1 : 1,500)

(1) 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第1号古墳近接地における試掘調査

所在地：庄原市上原町

開発事業者：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

調査期間：平成23年8月22日

調査対象面積：100m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

過去の分布調査で、当該地に近接する場所で熊野清水山第1号古墳が確認されている。現地踏査の結果、地形から、当該古墳の範囲が工事計画地内まで及ぶ可能性、あるいは他の古墳や集落跡等の遺跡の存在が予想されたため、試掘調査を実施した。

試掘坑は1箇所設定し、発掘作業は重機により行った。堆積状況は第7図に示した。遺構の有無等を確認する作業は第Ⅲ層上面で行い、溝状の落ち込み1基を確認した。この落ち込みは、熊野清水山第1号古墳の墳丘裾と無関係の方向に延びている上、丘陵から下ってくる道の延長上に位置することから、比較的近年に埋没した道の跡と推定される。出土遺物はなかった。

表6 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第1号古墳近接地 試掘坑所見

試掘坑大きさ	調査所見
長12m 幅2m 深1.5m	第Ⅰa層 腐植土。厚さ約10～15cm。 第Ⅱa層 浅黄色 (H2.5Y7/3) 細砂。締まりなし。厚さ約30cm。西寄りにあり。 第Ⅱb層 暗灰黄色 (H2.5Y5/2) ～にぶい黄橙色 (H10YR7/4) 細砂。締まりなし。厚さ約40～55cm。 第Ⅲ層 明黄褐色 (H2.5Y7/6) 砂。礫を多く含む。 各層とも遺構・遺物は確認できず。



a 試掘坑近景（南西から）



b 土層断面

図版1 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第1号古墳近接地 試掘坑近景・土層断面

(2) 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第3号古墳近接地における試掘調査

所在地：庄原市上原町

開発事業者：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

調査期間：平成23年8月22日

調査対象面積：250m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

当該地に近接する場所では、過去の分布調査で熊野清水山第3号古墳が確認されている。当該古墳の範囲が工事計画地内まで及ぶ可能性、あるいは他の種類の遺跡の存在が予想されたため、試掘調査を実施した。試掘坑は1箇所設定し、発掘作業は重機により行った。堆積状況は第7図に示した。

第Ⅲ層上面において遺構の有無確認作業を行ったほか、第Ⅲ層及び第Ⅳ層については試掘坑壁面の精査も行ったが、遺物や遺構は確認できなかった。

表7 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第3号古墳近接地 試掘坑所見

試掘坑大きさ	調 査 所 見
長20m 幅3m 深2m	第Ⅰa層 腐植土。厚さ約20cm。 第Ⅰc層 褐灰色 (H10YR4/1) シルト。いわゆるクロボク。厚さ約30～50cm。 第Ⅲ層 明黄褐色 (H10YR6/7) 細砂。厚さ約30～40cm。 第Ⅳa層 浅黄色 (H2.5Y7/4) シルト～粘土。柔らかい礫を含む。厚さ約30cm～50cm。 第Ⅳb層 橙色 (H2.5YR6/6) シルト～粘土。礫を多量に含む。厚さ20cm程度まで確認。 各層とも遺構・遺物は確認できず。



a 試掘坑近景（北東から）



b 土層断面（北東から）

図版2 田淵池改修工事計画地内 熊野清水山第3号古墳近接地 試掘坑近景・土層断面

(3) 日の本池改修工事計画地における試掘調査

所在地：庄原市七塚町

開発事業者：国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所

調査期間：平成23年8月31日及び平成23年9月1日（以下「第1次調査」という。）

平成23年9月29日及び平成23年9月30日（以下「第2次調査」という。）

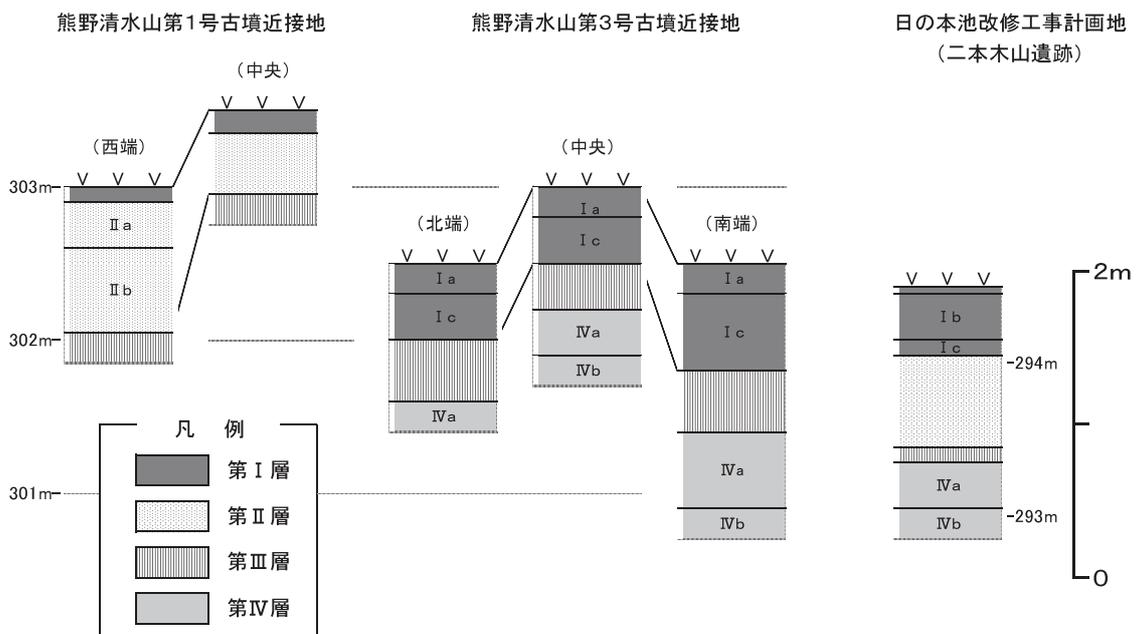
調査対象面積：4,100m<sup>2</sup>

調査結果：二本木山遺跡（縄文時代，落とし穴，4,100m<sup>2</sup>）を確認した。

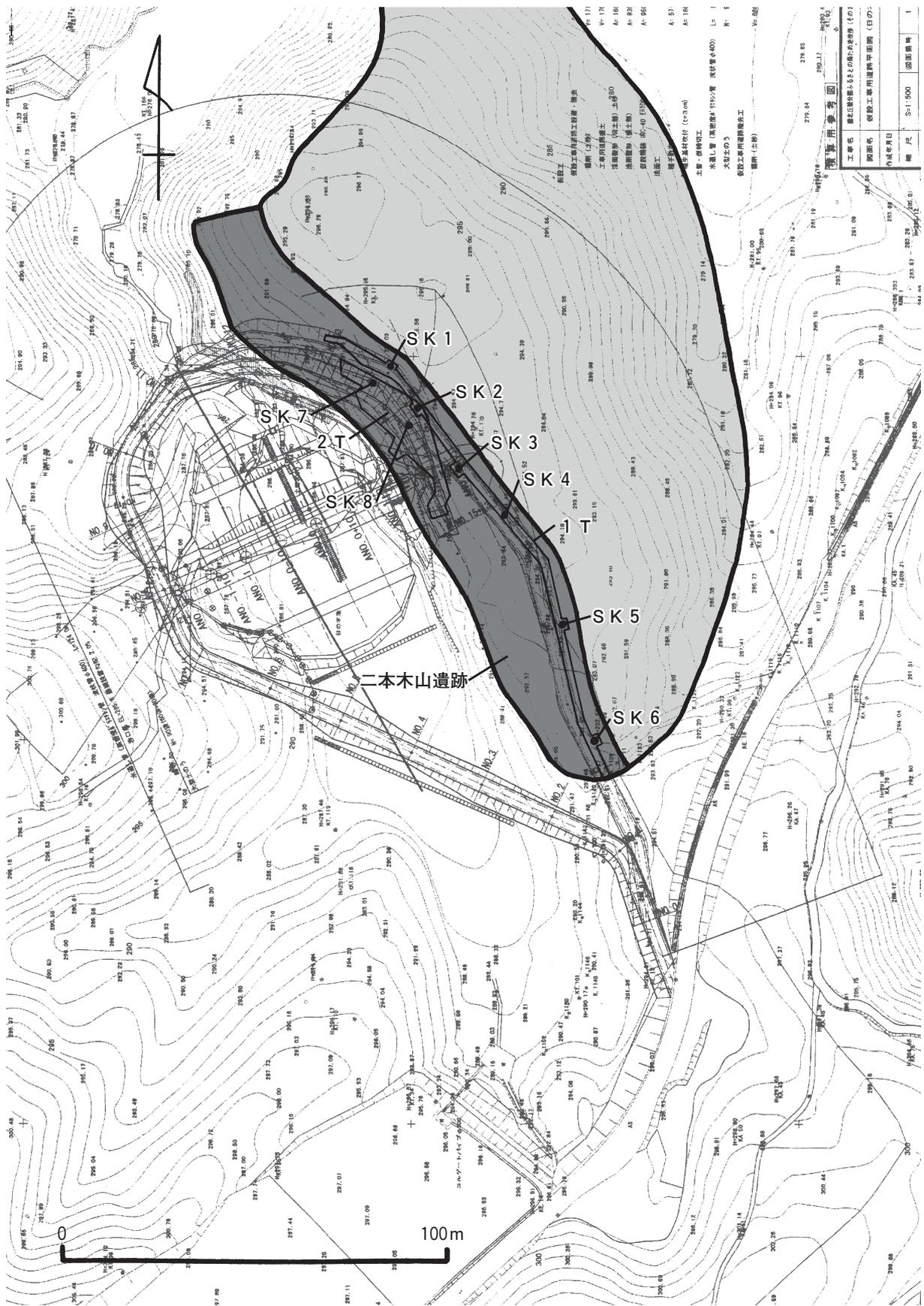
調査概要：

当該地は，過去の地表面観察の結果，地形から，集落跡等の遺跡の存在が予想されたため，試掘調査を実施した。作業は2次に分けて実施した。第1次調査で発掘した試掘坑を「1 T」，第2次調査で発掘した試掘坑を「2 T」と呼称するが，両試掘坑は一部が重複する。

層序は第7図のとおりである。遺構の有無を確認する作業は第Ⅱ層上面で行ったほか，1 Tの中央部では第Ⅳ層上面まで発掘を行って壁面の精査も行った。遺物は確認できなかったが，第Ⅱ層上面で平面形が楕円形の土坑8基を確認した（以下，「SK 1」から「SK 8」と呼称する）。SK 1からSK 5まではほぼ同じ標高で，特にSK 1からSK 4までの4基はほぼ直線状かつ等間隔（13～18m）に並ぶ。また，SK 7・SK 8は，SK 1・SK 2とほぼ平行方向に並ぶ。各土坑は検出平面形が類似する（表4）。SK 2の約1/4を掘り下げたところ，断面形は壁面の傾斜が垂直に近く底面が平坦であることや，埋土は色調や質の異なる土壌ブロックを含まない，比較的長期間をかけて徐々に流入したことをうかがわせる状態であることを確認した。遺物は，遺構の内外とも出土しなかった。時期を詳細に特定することは困難であるが，各土坑の形態及び立地・配列から，縄文時代の落とし穴と判断した。



第7図 国営備北丘陵公園整備事業地内試掘地点 土層略測（柱状）図（1：50）  
（標高値は地形図の等高線等から割り出した概数のため，実際とは数10cm程度ずれている可能性がある。）



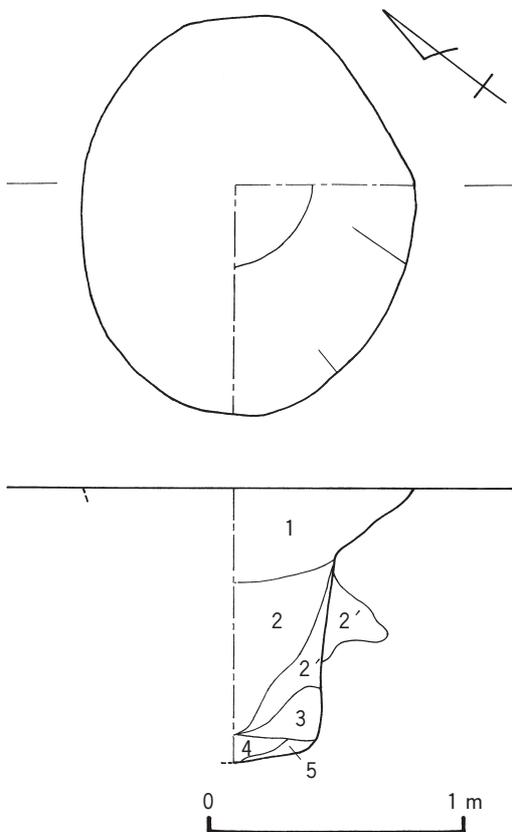
第8図 日の本池改修工事計画地 試掘坑位置図 (1 : 1,500)

表8 日の本池改修工事計画地内 試掘坑所見

調 査 所 見	
第I a層	腐植土。厚さ約5cm。
第I b層	黒色 (H10YR1.7/1) シルト。いわゆるクロボク。厚さ約30cm。
第I c層	黒褐色 (H10YR3/1.5) シルト。いわゆるクロボク。厚さ約10cm。
第II層	にぶい黄橙色 (H10YR6/4) 砂。厚さ約60cm。上面で土坑8基 (SK1~8) を確認。
第III層	黄色 (H2.5Y7/8) 粗砂。厚さ約10cm。
第IV a層	浅黄色 (H2.5Y7/3) 粘土。厚さ30cm。
第IV b層	橙色 (H5YR6/8) 粘土。礫を多量に含む。厚さ20cm程度まで確認。 各層とも遺物は確認できず。

表9 二本木山遺跡検出遺構一覧表 (長径・短径は検出面で計測, 深さは検出面から底面まで, いずれも単位m)

遺構番号	長径	短径	深さ	遺構番号	長径	短径	深さ
SK1	1.1	0.9	1以上	SK5	1.3以上	1.3	未確認
SK2	1.5	1.2	1.2	SK6	1.6	1.2	未確認
SK3	1.5	1.0	未確認	SK7	1.6	1.1	未確認
SK4	1.4	1.1	未確認	SK8	1.4	0.9	未確認



(土層所見)

- 1 黒色 (H10YR1.7/1) シルト。いわゆるクロボク。
- 2 黒褐色 (H10YR3/1) シルト。いわゆるクロボク。
- 2' 黄色砂を含む黒褐色シルト。攪乱。
- 3 褐灰色 (H10YR5/1) シルト。黄色砂のブロックを多く含む。
- 4 黒褐色 (H10YR3/1) シルト。黄色砂ならびに炭化物を少量含む。
- 5 褐灰色 (H10YR5/1) シルト。炭化物をわずかに含む。

第9図 二本木山遺跡 SK2略測図 (1:30)



a 遠景（南西から）



b 調査前近景（南から）



c SK1付近調査状況（北から）

図版3 国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地 調査状況（1）



a SK 4 付近調査状況（北から）



b SK 2, SK 7, SK 8 付近調査状況  
（北西から）



c SK 1 検出状況（南西から）



d SK 1 断面（北西から）

図版4 国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地 調査状況（2）



a SK 2 検出状況 (北東から)



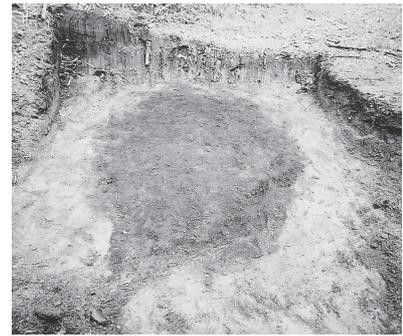
b SK 2 断面 (南西から)



c SK 4 検出状況 (北東から)



d SK 5 検出状況 (南から)



e SK 6 検出状況 (南西から)



f SK 7 検出状況 (南西から)



g SK 8 検出状況



h 2T土層

図版5 国営備北丘陵公園整備事業 日の本池改修工事計画地 調査状況 (3)

### 3 一般県道内海三津線道路改良事業に係る試掘調査 (要試掘地点No.2 及びNo.4)

(1) 要試掘地点No.2 における試掘調査

所在地：呉市安浦町女子畑

開発事業者：広島県西部建設事務所

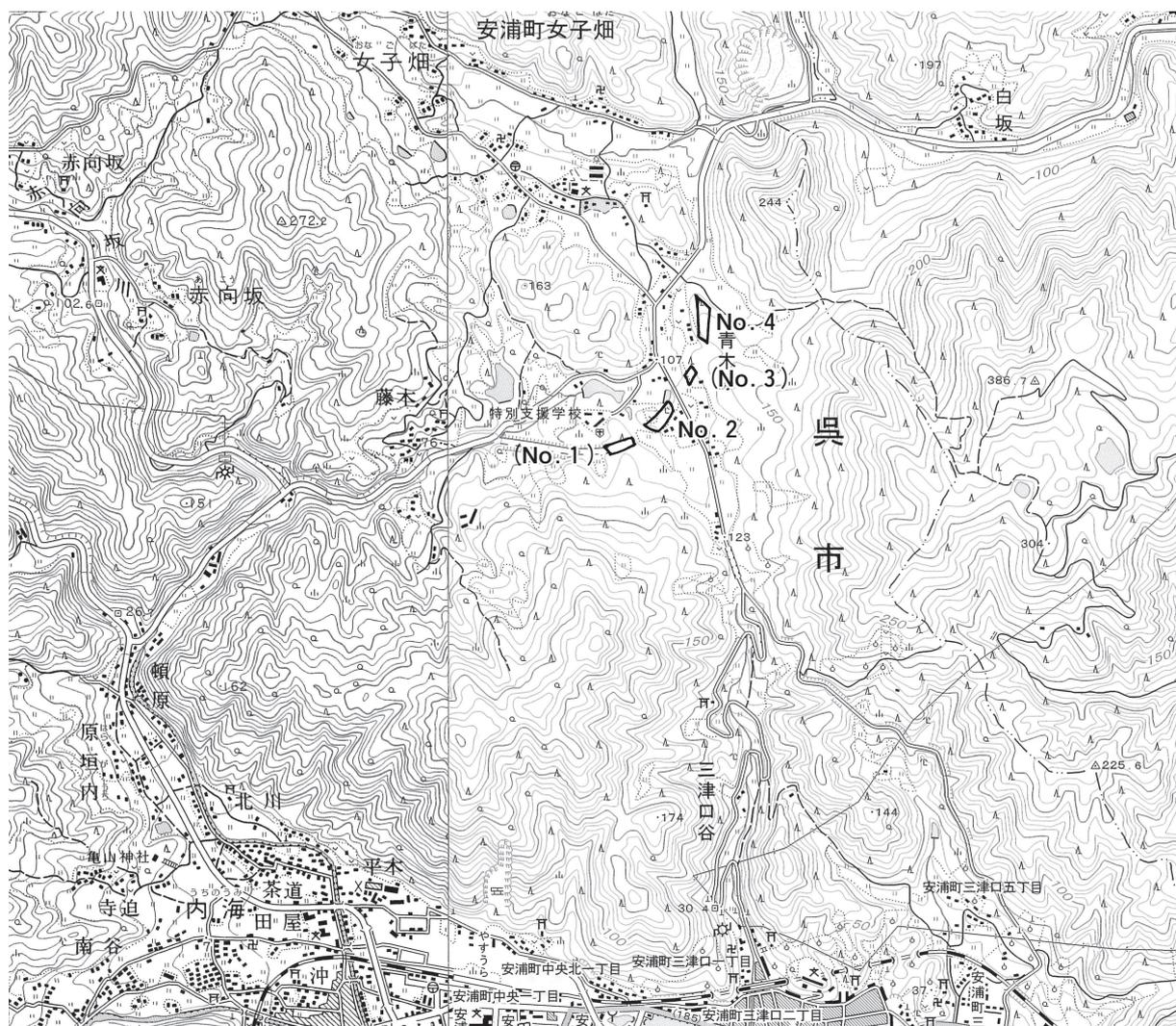
調査年月日：平成23年12月19日（月）～平成23年12月22日（木）

調査対象面積：2,400m<sup>2</sup>

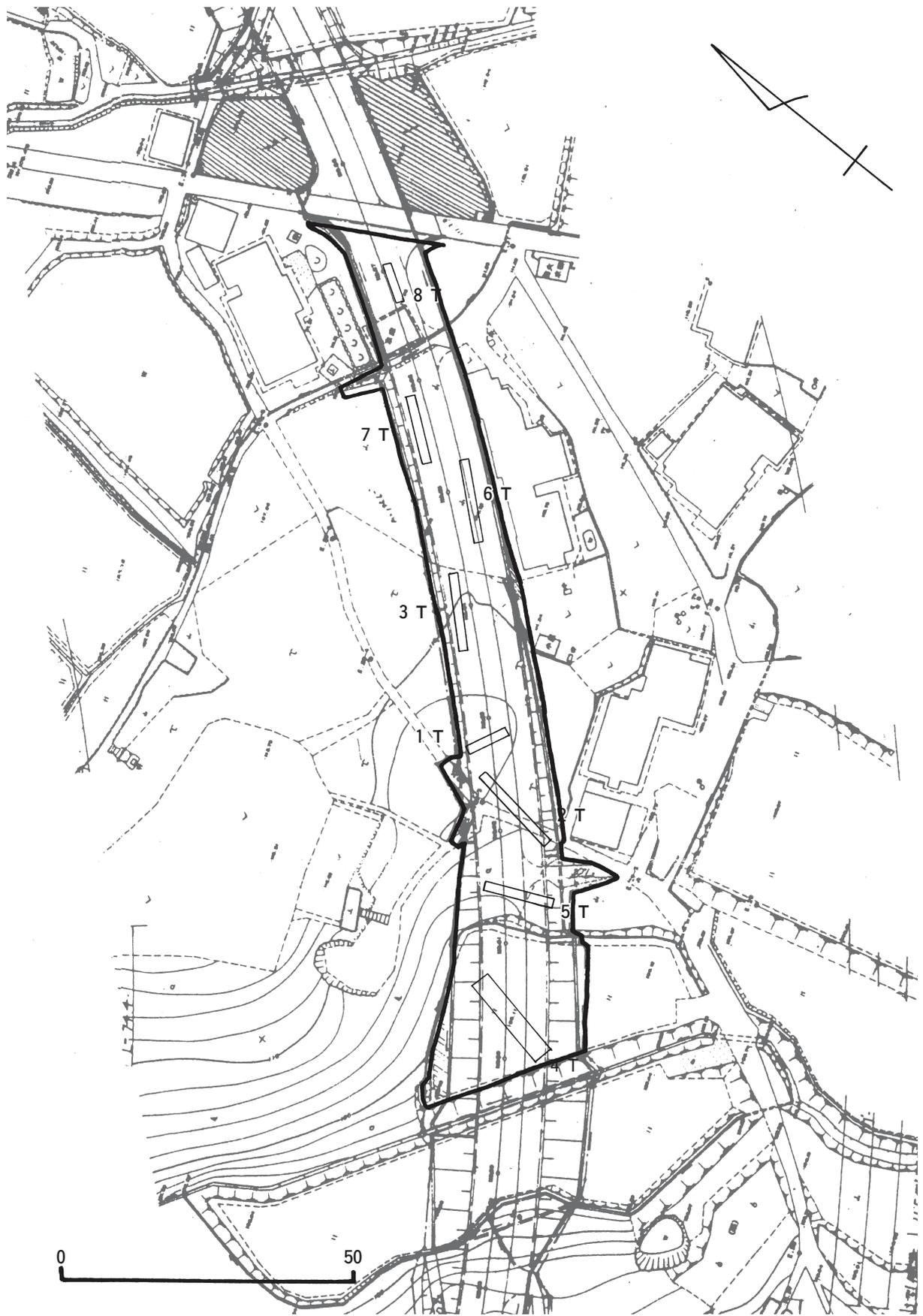
調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

平成19年度に実施した地表面観察の結果、地形から集落跡等の存在が予想されたため、埋蔵文化財包蔵地の有無等を確認するため試掘調査を実施した。試掘坑は8箇所設定し（以下、発掘順に「1～8 T」と呼称する）、発掘作業は重機により行った。基本層序は次のとおりである。



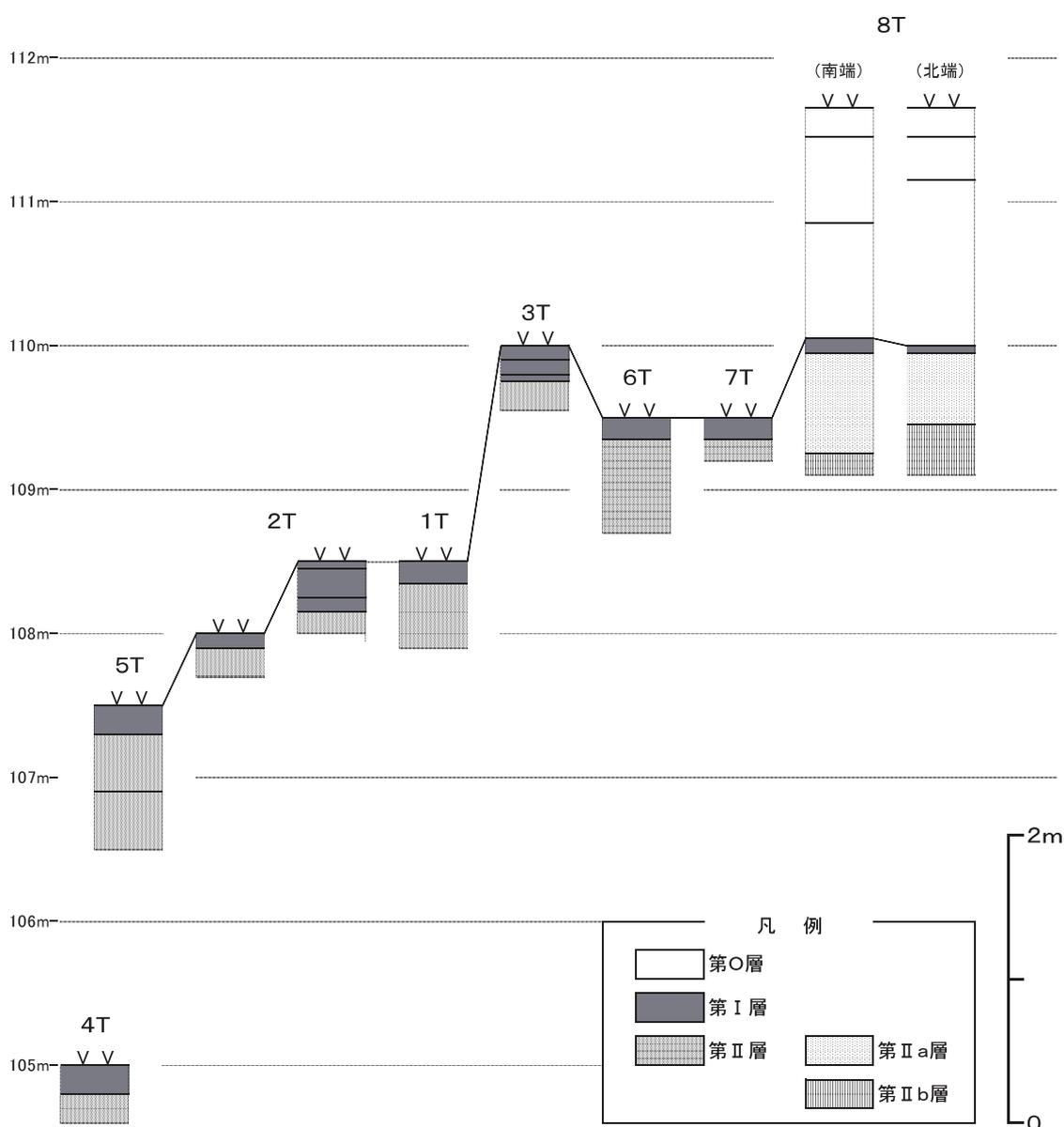
第10図 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 及びNo.4 位置図  
(国土交通省国土地理院発行 1：25,000地形図「三津」「安芸内海」図幅を使用)



第11図 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No 2 試掘坑位置図 (1 : 1,000)

- 第 0 層 現代の客土。ビニール等を含む。
- 第 I 層 灰黄色～灰黄褐色砂。表土。
- 第 II 層 明黄褐色～浅黄色砂。基盤層。8 Tでは次の2層に細分可能。
- 第 II a層 浅黄色砂。砂粒やや大，しまり弱，径10～20cm程度の礫を含む。基盤風化層。
- 第 II b層 明黄褐色砂。しまり強，径10～30cm程度の礫を含む。基盤層。

遺構の有無を確認する作業は第 II 層上面（8 Tでは第 II a層上面及び第 II b層上面）で行ったが，遺構及び遺物は確認できなかった。



第12図 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 試掘坑土層略測（柱状）図（1：50）  
（標高値は地形図の等高線等から割り出した概数のため，実際とは数10cm程度ずれている可能性がある。）

表10 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 各試掘坑所見

トレンチNo.	試掘坑大きさ	調査所見（※各試掘坑とも遺構・遺物は確認できず）
1 T	長7.5m 幅1.2m ～1.8m 深0.6m	第 I 層 腐植土。厚さ約15cm。 第 II 層 明黄褐色（H2.5Y7/6）シルト。厚さ45cm程度まで確認。
2 T	長17.5m 幅1.8m 深0.5m	第 I a 層 腐植土。厚さ約5～10cm。 第 I b 層 灰黄色（H2.5Y7/2）砂。中央部のみ堆積，最大部厚さ6cm程度。 第 I c 層 におい橙色（H2.5YR6/4）砂。中央部のみ堆積，最大部厚さ2cm程度。 第 I d 層 灰黄褐色（H10YR6/2）砂。西部のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 II 層 浅黄色（H2.5Y7/4）砂。厚さ20cm程度まで確認。
3 T	長14m 幅1.5m 深0.4m	第 I a 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 I b 層 浅黄色（H2.5Y7/4）砂。厚さ約10cm。 第 I c 層 暗灰黄色（H2.5YR5/2）砂。厚さ約2cm。旧表土の可能性あり。 第 I d 層 灰黄褐色（H10YR6/2）砂。西部のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 II 層 明黄褐色（H2.5Y7/6）シルト。厚さ40cm程度まで確認。
4 T	長18m 幅3.8m 深0.4m	第 I 層 暗灰黄色（H2.5Y5/2）砂。厚さ約20cm。耕作土。 第 II 層 浅黄色（H2.5Y7/3）砂。厚さ20cm程度まで確認。
5 T	長12m 幅2m 深1m	第 I 層 腐植土。厚さ約20cm。 第 II 層 上部は明黄褐色（H10YR7/6）砂。径3～5cmの礫を含む。厚さ約40cm。 下部はにおい黄橙色（H10YR7/2）砂。径3～5cmの礫を多く含む。厚さ40cm程度まで確認。
6 T	長15m 幅1.8m 深0.8m	第 I 層 灰褐色（H10YR6/2）砂。厚さ約15cm。 第 II 層 明黄褐色砂。径5～40cmの礫を含む。厚さ65cm程度まで確認。
7 T	長12m 幅2m 深0.3m	第 I 層 灰褐色（H10YR6/2）砂。厚さ約15cm。 第 II 層 明黄褐色砂。径5～40cmの礫を含む。厚さ15cm程度まで確認。
8 T	長6.5m 幅1.6m 深2.55m	第 0 a 層 砂利。現代の整地層。厚さ約20cm。 第 0 b 層 淡黄色（H2.5Y8/4）シルト。現代の瓦を包含する客土。厚さ約30～60cm。 第 0 c 層 におい黄色（H2.5Y6/4）砂。ビニール袋等を包含する客土。厚さ約80～115cm。 第 I 層 灰黄褐色（H10YR5/2）砂。厚さ約2～5cm。 第 II a 層 浅黄色（H2.5Y7/3）砂。径10～20cmの礫を含む。厚さ約45～75cm。 第 II b 層 明黄褐色（H2.5Y7/6）砂。径10～30cmの礫を含む。厚さ35cm程度まで確認。



a 1 T 調査状況（北西から）



b 2 T 調査状況（南から）

図版6 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 調査状況（1）



a 3 T調査状況



b 4 T調査状況 (南から)



c 5 T調査状況 (南から)



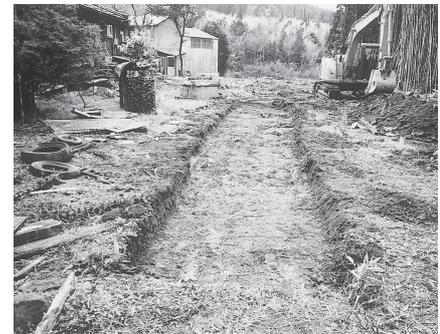
d 5 T土層 (南から)



e 6 T調査状況 (南西から)



f 6 T土層 (北西から)



g 7 T調査状況 (北東から)



h 8 T調査状況 (北東から)



i 8 T土層 (南から)

図版7 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.2 調査状況(2)

(2) 要試掘地点No 4 における試掘調査

所在地：呉市安浦町女子畑

開発事業者：広島県西部建設事務所

調査年月日：平成24年1月16日（月）～平成24年1月20日（金）

調査対象面積：4,300m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

平成19年度に実施した現地踏査の際、当該地において土器（土師器の破片1点。図版8左。）を表面採集し、また本地点西側の、丘陵裾の市道法面において石器（旧石器時代あるいは縄文時代に属すると推測される、流紋岩の剥片1点。第13図。）を断面採集したため、埋蔵文化財包蔵地の有無等を確認するため試掘調査を実施した。試掘坑は13箇所設定し（以下、発掘順に「1～13T」と呼称する）、発掘作業は重機により行った。基本層序は次のとおりである。

第Ⅰ層 腐植土。

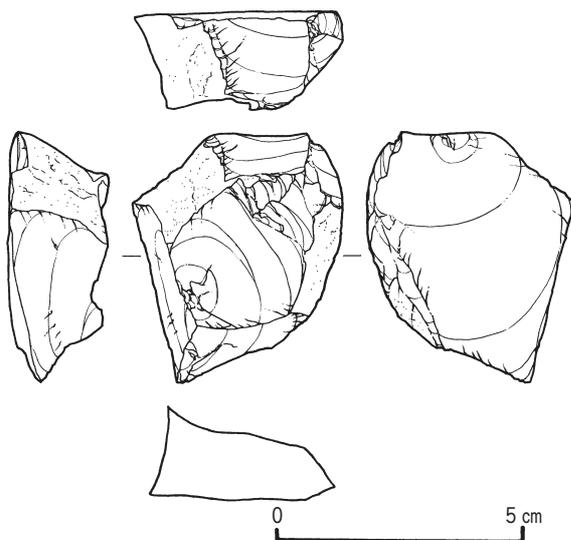
第Ⅱ層 黄色系の色調を呈する砂。斜面下方で確認。

第Ⅲ層 黄色系の色調を呈する砂ないしシルト。

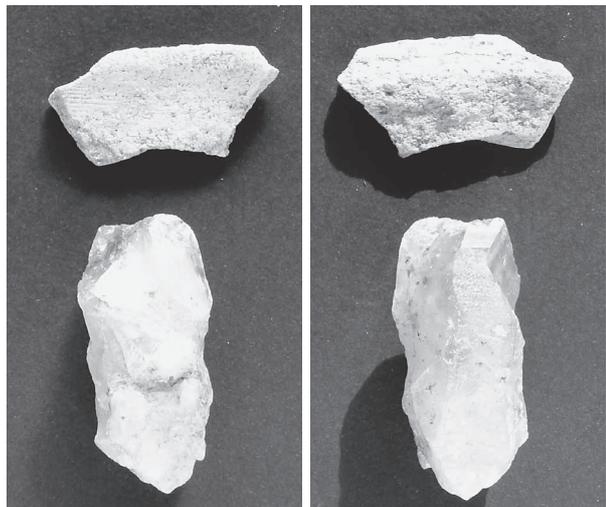
第Ⅳ層 赤(橙)色系の色調を呈する砂ないしシルト。第Ⅲ層より粘性やや大きい。

遺構の有無を確認する作業は第Ⅱ層上面及び第Ⅲ層上面で行ったが、遺構は確認できなかった。遺物は、7Tの第Ⅲ層上面を検出面とする攪乱坑の埋土中から、水晶の礫1点（図版8右）を確認した。人為的な加工痕や使用痕は認められない。本地点及び近隣において水晶の露頭や水晶礫を含む礫層は確認されておらず、当該地に人為的に搬入された可能性があるが、他に遺物及び遺構が全く確認できず、当該出土品自体も攪乱坑中から出土したことから、原位置から大きく遊離したものと判断した。

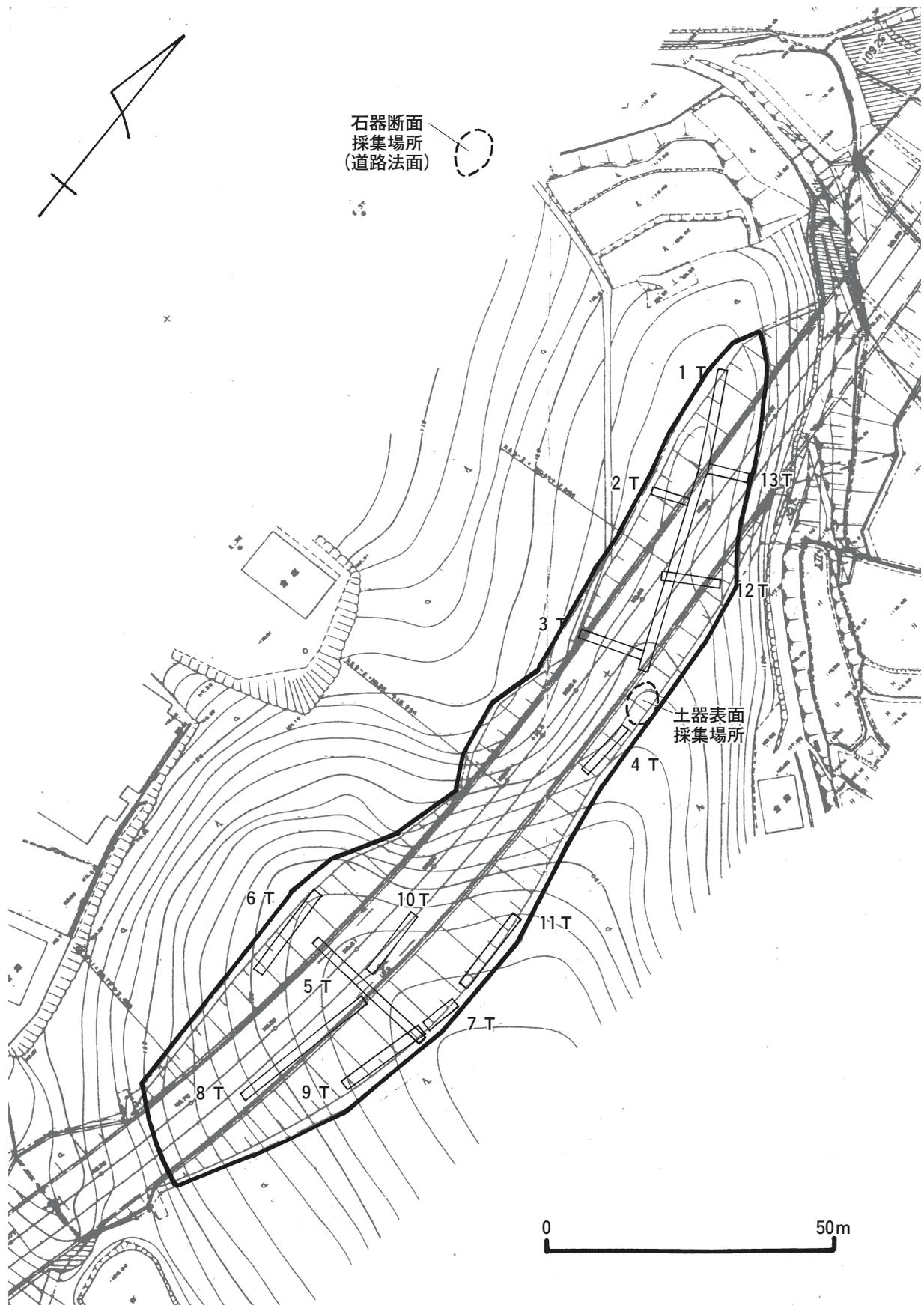
なお、当該開発事業計画地内では、当地を含めて4箇所の要試掘地点を確認していたが、当地の試掘調査により全地点の試掘調査が完了した。



第13図 一般県道内海三津線道路改良事業地内  
要試掘地点No 4 隣接地採集遺物（2：3）



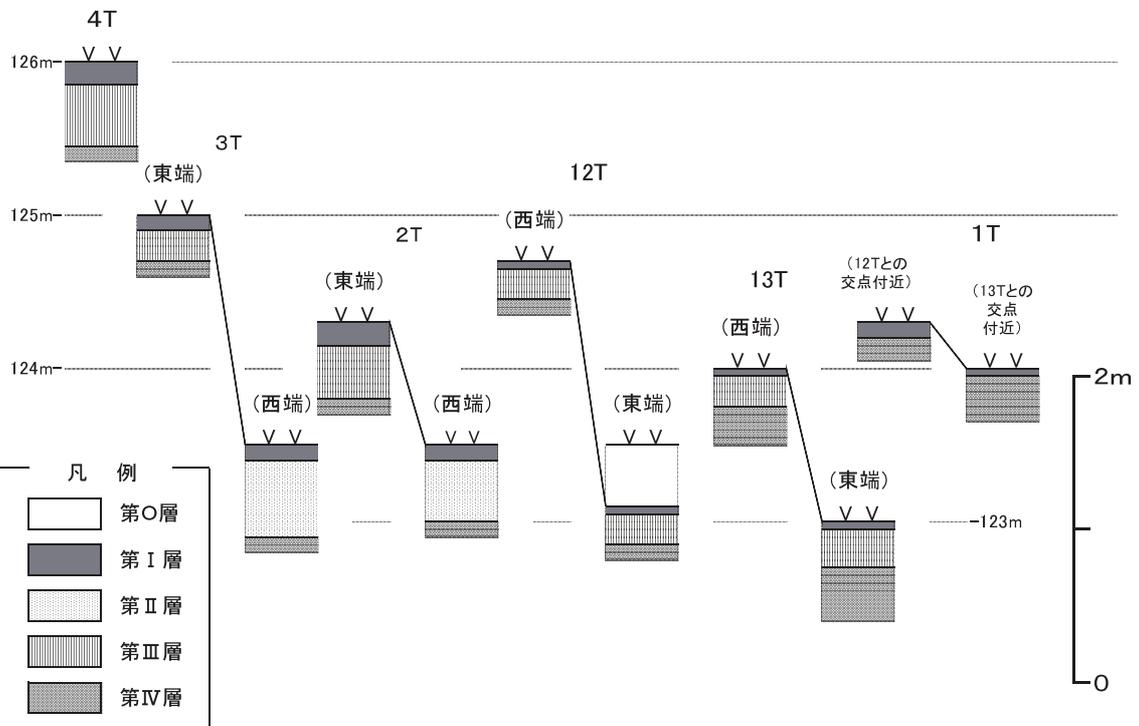
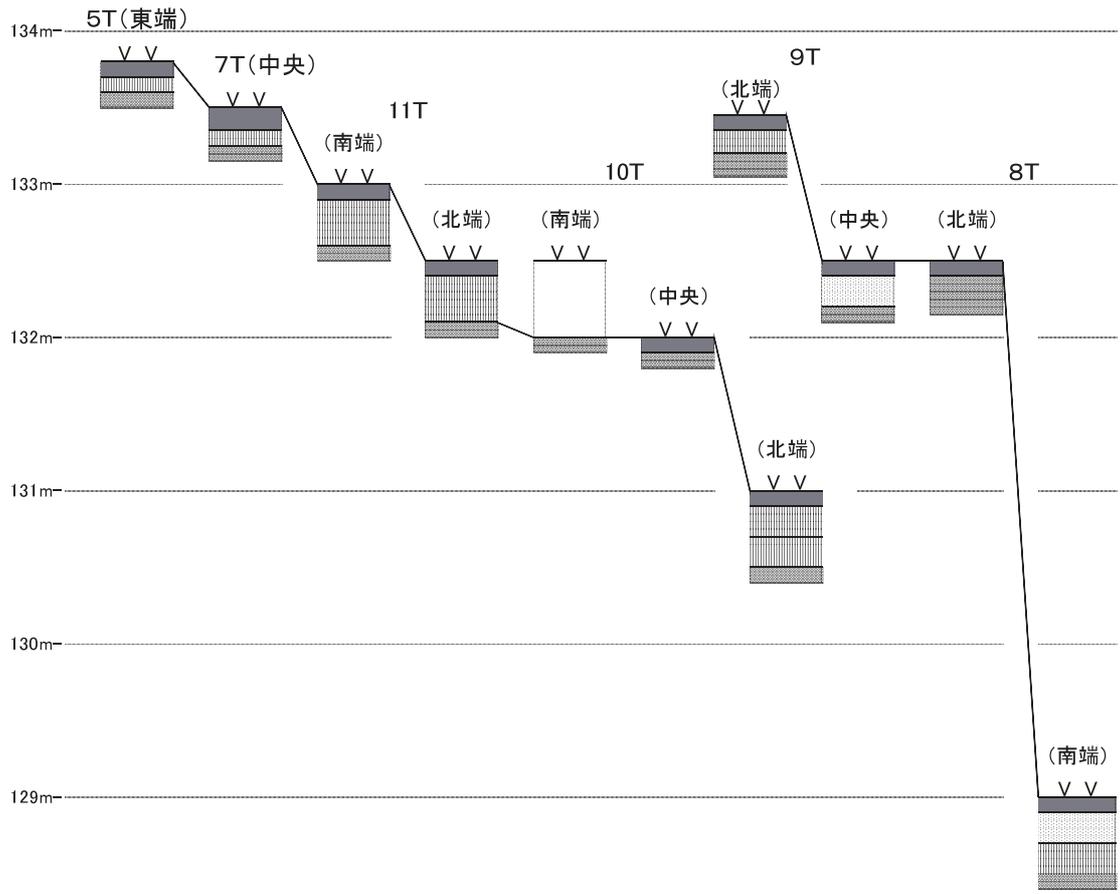
図版8 一般県道内海三津線道路改良事業地内  
要試掘地点No 4 採集遺物（約2：3）



第14図 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No 4 試掘坑位置図 (1 : 1,000)

表11 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 各試掘坑所見

トレンチNo.	試掘坑大きさ	調査所見（※各試掘坑とも遺構・遺物は確認できず）
1 T	長54m 幅1.5m 深0.4m	第 I 層 腐植土。厚さ約10～20cm。 第 IV 層 明赤褐色（H2.5YR5/6）砂。厚さ30cm程度まで確認。
2 T	長7m 幅1.5m 深0.5m	第 I 層 腐植土。厚さ約10～15cm。 第 II 層 灰黄色（H2.5Y6/2）砂。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ40cm程度。 第 III 層 灰黄色（H2.5Y6/2）砂。径5cm程度の礫を多く含む。斜面上方のみ堆積，最大部厚さ35cm程度。 第 IV 層 明赤褐色（H2.5YR5/6）砂。上面のみ確認。
3 T	長13m 幅1.5m 深0.6m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 II 層 にぶい黄橙色（H10YR6/4）細砂。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ50cm程度。 第 III 層 にぶい黄橙色（H10YR7/4）細砂。斜面上方のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 IV 層 橙色（H2.5YR6/6）シルト。上面のみ確認。
4 T	長10m 幅1.5m 深0.6m	第 I 層 腐植土。厚さ約15cm。 第 III 層 にぶい黄橙色（H10YR7/4）砂。炭化物をわずかに含む。厚さ約40cm。 第 IV 層 橙色（H2.5YR6/6）砂。上面のみ確認。
5 T	長25.5m 幅1.5m 深0.3m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 III 層 にぶい黄橙色（H10YR6/4）シルト。厚さ約10cm。 第 IV 層 橙色（H5YR6/8）シルト。上面のみ確認。第 III 層との境は不明瞭。
6 T	長17m 幅1.5m 深1.7m	第 I 層 腐植土。厚さ約20cm。 第 III 層 浅黄色（H2.5Y7/3）砂。厚さ約20cm。 第 IV a 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。厚さ約50cm。第 III 層との境は不明瞭。 第 IV b 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。白色砂のブロック（風化しきった礫）を含む。厚さ70cm程度まで確認。
7 T	長7m 幅1.5m 深0.4m	第 I 層 腐植土。厚さ約15cm。 第 III 層 浅黄色（H2.5Y7/3）砂。厚さ約10cm。 第 IV a 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。厚さ10cm程度まで確認。 攪乱坑埋土中から水晶の礫が1点出土。
8 T	長27m 幅1.5m 深0.5m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 II 層 明黄褐色（H10YR7/6）砂。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 III 層 にぶい黄色（H2.5Y6/4）砂。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 IV a 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。厚さ25cm程度まで確認。
9 T	長17m 幅1.5m 深0.4m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 II 層 明黄褐色（H10YR7/6）砂。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ20cm程度。 第 III 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。第 IV 層より黄色みが強い。斜面上方のみ堆積，最大部厚さ15cm程度。 第 IV a 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。厚さ15cm程度まで確認。第 III 層との境は不明瞭。
10 T	長13m 幅1.5m 深0.7m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 III a 層 にぶい橙色（H7.5YR6/4）細砂。厚さ約20cm。 第 III b 層 橙色（H5YR6/8）シルト。斜面下方のみ堆積，最大部厚さ約20cm。 第 IV 層 赤橙色（H10YR6/8）シルト。上面のみ確認。
11 T	長15m 幅1.5m 深0.5m	第 I 層 腐植土。厚さ約10cm。 第 III 層 浅黄色（H2.5Y7/3）砂。厚さ約30cm。 第 IV 層 橙色（H2.5YR6/8）砂。厚さ10cm程度まで確認。
12 T	長9.5m 幅1.5m 深0.7m	第 I 層 腐植土。厚さ約5cm。 第 III 層 斜面上方は明黄褐色（H2.5Y7/6）砂，下方は同色シルト。厚さ約20cm。 第 IV 層 橙色（H5YR6/8）シルト。厚さ10cm程度まで確認。
13 T	長8m 幅1.5m 深0.7m	第 I 層 腐植土。厚さ約5cm。 第 III 層 にぶい黄色（H2.5Y6/4）～浅黄色（H2.5Y7/4）砂。厚さ約20～25cm。 第 IV 層 橙色（H7.5YR7/6）砂。厚さ35cm程度まで確認。



第15図 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No4 試掘坑土層略測(柱状)図(1:50)  
 (標高値は地形図の等高線等から割り出した概数のため、実際とは数10cm程度ずれている可能性がある。)



a 1 T調査状況



b 1 T土層



c 2 T調査状況



d 3 T調査状況



e 3 T土層



f 4 T調査状況



g 5 T調査状況



h 5 T土層



i 6 T調査状況



j 7 T調査状況



k 7 T土層

図版9 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 調査状況(1)



a 8 T調査状況



b 8 T土層



c 9 T調査状況



d 9 T土層



e 10T調査状況



f 10T土層



g 11T調査状況



h 11T土層



i 12T調査状況



j 12T土層



k 13T調査状況

図版10 一般県道内海三津線道路改良事業地内 要試掘地点No.4 調査状況 (2)

## 4 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線に係る試掘調査

所在地：廿日市駅前

開発事業者：広島県西部建設事務所

調査期間：平成23年8月22日から平成23年8月24日まで

調査対象面積：約700m<sup>2</sup>

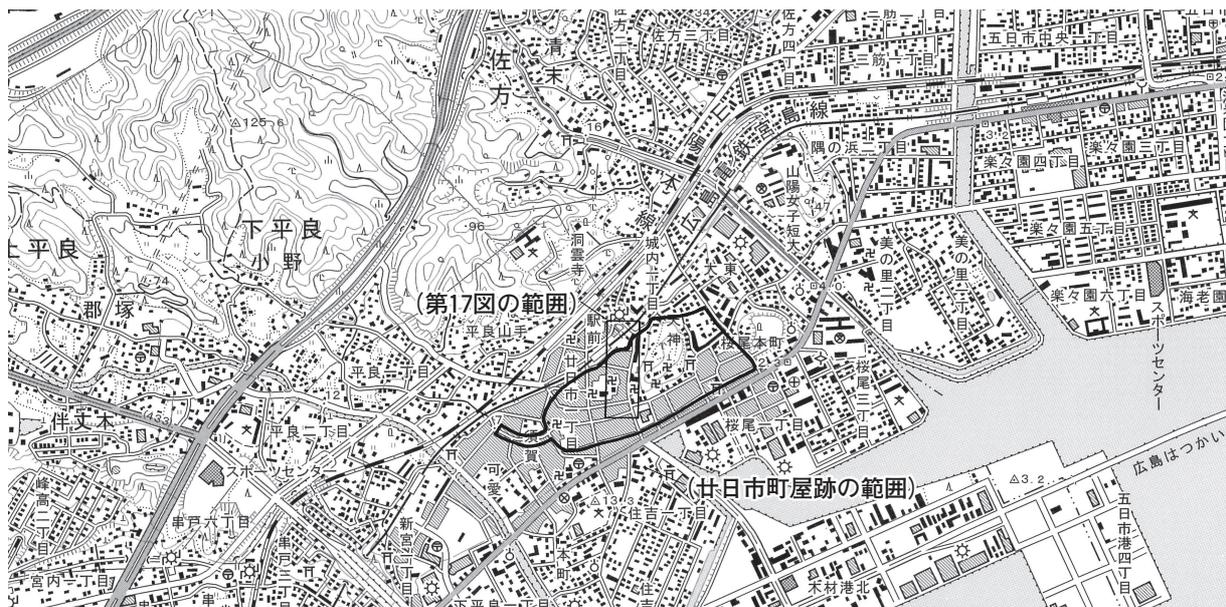
調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

調査概要：

試掘対象地は現在の海岸線から直線距離で約500mの沖積地である。現地踏査の結果では、当該地における埋蔵文化財の有無は判断できなかったが、廿日市内では、瀬戸内海に面した海岸沿いの沖積地において、旧石器時代から中世にかけての埋蔵文化財包蔵地が複数確認されている。当該地についても同様の遺跡が存在する可能性が考えられたことから、試掘調査を実施した。試掘坑は3箇所設定した。試掘坑の呼称は、既往試掘調査からの連番として、11～13Tとした。各試掘坑とも土層の堆積状況は同様であることから、次のとおり基本層序を設定した。

第0層 淡褐色粗砂を主体とする層。厚さ約130～150cmで、南東側（広島電鉄の線路に近づく）ほど厚くなる。最下部はグライ化して青灰色を呈する。表層部を中心に現代の遺物を包含する。

第I a層 暗灰褐色砂混じり粘土。厚さ約30～40cm。粘性高い。磁器（近世から近代にかけてのものと推定される）・素焼の土器（時期不明）・スラグ・鉄釘が少量包含される。



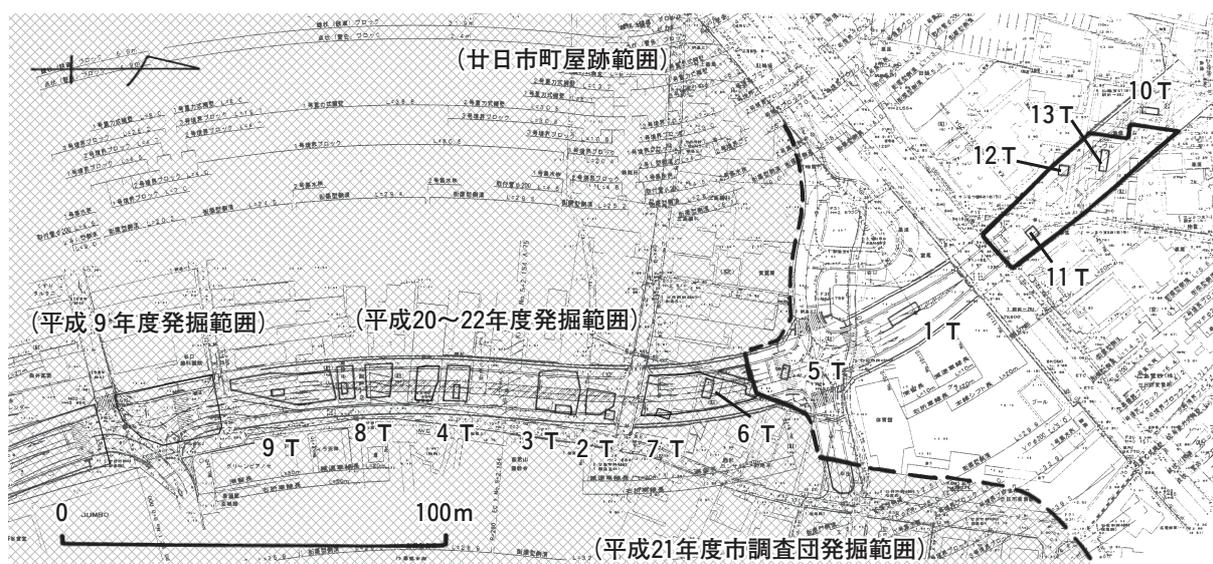
第16図 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 要試掘地点位置図  
(国土交通省国土地理院発行 1:25,000地形図「廿日市」図幅を使用)

第 I b 層 暗褐色砂混じり粘土。厚さ約30～40cm。粘性高い。青灰色砂の不整形ブロックや層理に平行する薄層が認められることから、水成堆積層と判断される。植物の幹・茎・葉・マツボクリが多量に包含される。近世末から近代にかけてのものと推定される屋根瓦が少量出土した。

第 II 層 暗褐色砂。厚さ1 m以上（下面は確認できず）。下位ほど粘性が低く、砂の粒子も粗くなる。遺物は確認されず。層を構成する砂は均質であることから、海成堆積層の可能性が高いと判断される。

現地の土地利用履歴について、試掘調査中に近隣住民から寄せられた情報を総合すると、当該地は戦後に埋め立てを行って宅地化された場所で、埋め立て以前は田（水田あるいはハス田）であったらしいとのことである。土層堆積状況と突合すると、第 II 層＝陸化する以前の海成堆積層、第 I b 層＝陸化後の湿地性堆積物、第 I a 層＝耕作土、第 0 層＝宅地化に伴う盛土及び宅地化後の整地土、と矛盾なく解釈できる。当該地で地下遺構が確認できなかったことに加え、出土遺物から当該地が陸化した時期は比較的新しい（近世末ないし近代以降の可能性が高い）と判断されることから、当該地に埋蔵文化財包蔵地は存在しないと判断した。

なお、当該開発事業に係る試掘調査については、当地の試掘調査により全地点完了した。



第17図 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 試掘坑位置図 (1:2,000)  
(1～10Tは平成22年度以前に試掘を実施した箇所)

表12 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内 各試掘坑所見

トレンチNo.	試掘坑大きさ	調査所見（※各試掘坑とも遺構・遺物は確認できず）
11T	長2m 幅2m 深3m	第0a層 淡褐色粗砂。厚さ約120cm。現代遺物包含。盛土層。 第0b層 淡青灰色粗砂。厚さ約30cm。 第Ia層 暗灰褐色粘土。厚さ約40cm。砂粒を多く含む。近世～近代陶磁器が少量出土。旧耕作土か。 第Ib～II層 上部は暗褐色粘土，下部は同色の砂。粘土と砂の境界は不明瞭で漸移的。厚さ約110cmまで確認。上部には砂のブロック・薄層や植物の枝（加工痕は認められず）を多量に包含。
12T	長2m 幅2m 深2.3m	第0a層 淡褐色粗砂。厚さ約120cm。表層部は褐色。現代遺物包含。盛土層。 第0b層 淡青灰色粗砂。厚さ約30cm。 第Ia層 暗灰褐色粘土。厚さ約30cm。砂粒を多く含む。近世～近代陶磁器・スラグ・鉄釘が出土。旧耕作土か。 第Ib～II層 上部は暗褐色粘土，下部は同色の砂。粘土と砂の境界は不明瞭で漸移的。厚さ約50cmまで確認。上部には砂のブロック・薄層や植物の枝（加工痕は認められず）を多量に包含。
13T	長5m 幅2m 深3m	第0a層 淡褐色粗砂。厚さ約110cm。表層部は褐色。現代遺物包含。盛土層。 第0b層 青灰色粗砂。厚さ約20cm。 第Ia層 暗灰褐色砂混じり粘土。厚さ約40cm。砂粒を多く含む。旧耕作土か。 第Ib層 暗褐色砂混じり粘土。厚さ約30cmまで確認。砂のブロック・薄層や植物の枝・幹・マツボックリを多量に包含，近代陶器（瓦の可能性もあり）が少量出土。 第II層 暗褐色砂。厚さ約100cmまで確認。下位ほど土色は明るく，砂粒が大きくなり粘性が低下する傾向が認められる。



a 調査対象地近景（北から）



b 11T土層

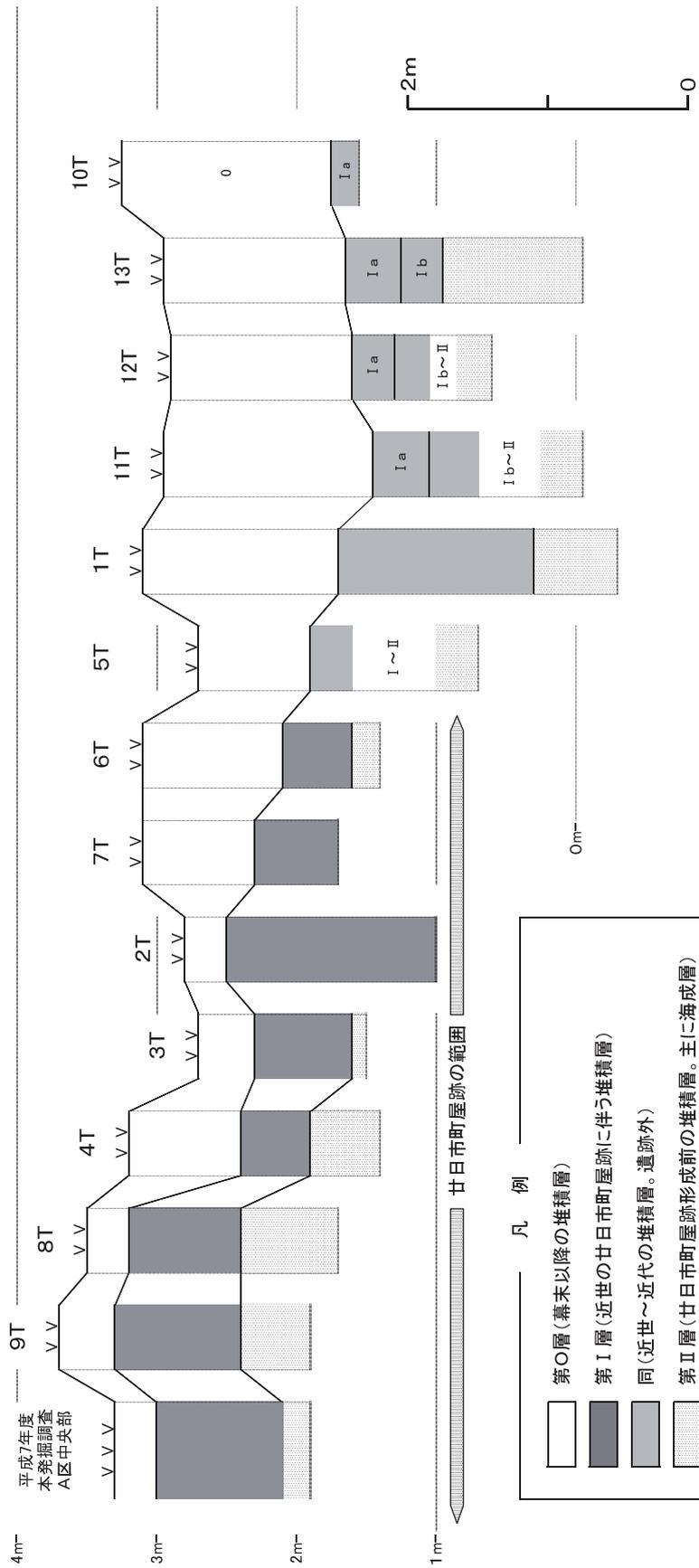


c 12T土層



d 13T土層

図版11 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線事業地内試掘地点 近景及び各試掘坑土層



1T～3T…平成19年度試掘, 4T～7T…平成20年度試掘, 8T・9T…平成21年度試掘, 10T…平成22年度試掘, 11T～13T…平成23年度試掘

第18図 広島圏都市計画道路事業3・4・205号廿日市駅通線建設事業地内 試掘坑土層略測(柱状)図(1:50)

(標高値は地形図等高線等から割り出した概数のため, 実際と数10cmずれしている可能性がある。)

## 5 送電線整備に係る試掘調査（福山市教育委員会および府中市教育委員会と共同実施）

所在地：府中市荒谷町（No.193・194・195地点）、府中市本山町（No.201地点）及び福山市新市町（No.201-1地点）

開発事業者：民間企業

調査年月日：平成24年2月20日（月）～平成24年2月27日（月）

調査対象面積：4,000m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財は確認できなかった。

協議経緯及び調査概要：

開発事業範囲は府中市と福山市にまたがるため、両市の教育委員会と共同で試掘調査を実施した。

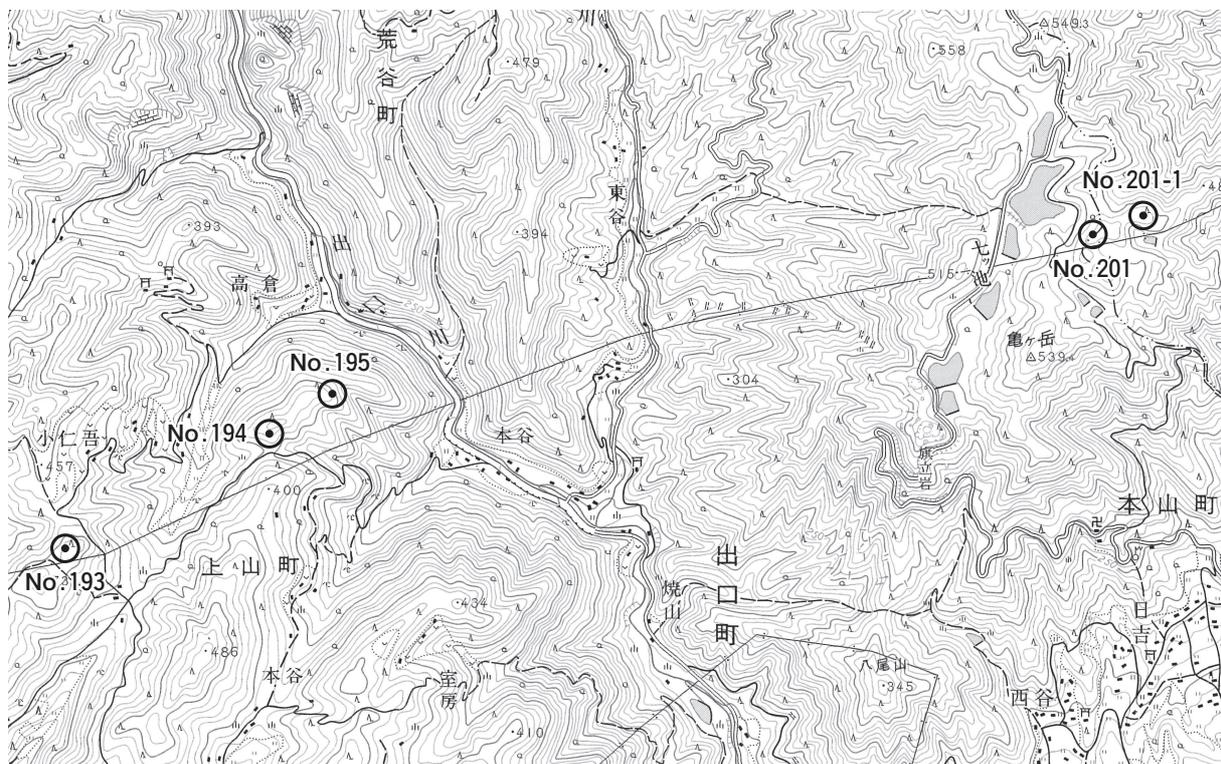
No.193地点 発掘作業は人力掘削により行った。遺構・遺物とも確認できなかった。

No.194地点 発掘作業は人力掘削により行った。近代以降の陶磁器が出土したが、埋蔵文化財と認めうる遺構・遺物は確認できなかった。

No.195地点 発掘作業は人力掘削により行った。遺構・遺物とも確認できなかった。

No.201地点 発掘作業は人力掘削により行った。時期不明の落ち込みを確認したが、人為的なものと断定できる形態的特徴を備えていない。埋蔵文化財と認めうる遺構・遺物は確認できなかった。

No.201-1地点 発掘作業は人力掘削により行った。石垣状の構造物を確認したが、伴出する遺物はなく、近代以降の植林の作業道に伴うものの可能性があり、明確に埋蔵文化財と認めうる遺構・遺物は確認できなかった。



第19図 送電線整備に係る試掘調査地点位置図（国土交通省国土地理院発行1：25,000地形図「木野山」図幅を使用）



## 7 砂利採取事業に係る試掘調査 (山県郡安芸太田町大字津浪, 安芸太田町教育委員会を支援)

所在地：山県郡安芸太田町大字津浪

開発事業者：民間企業

調査期間：平成23年11月28日から平成23年11月30日まで

調査対象面積：7,504m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財は確認できなかった。

協議経緯：

開発事業者から協議を受けた安芸太田町教育委員会と当教育委員会が現地踏査を行った結果、周辺地域では太田川沿いの沖積面・河岸段丘上・扇状地等の緩傾斜地において、縄文時代から中世にかけての埋蔵文化財包蔵地が確認されており、当該地についても同様の遺跡が存在する可能性が考えられたことから、埋蔵文化財の有無等を確認するための試掘調査が必要と判断した。

また、試掘作業については、対象面積が広い一方、開発事業計画との関係で迅速な対応が必要となったこと等の事情から、当教育委員会が支援して行うこととなった。

調査概要：

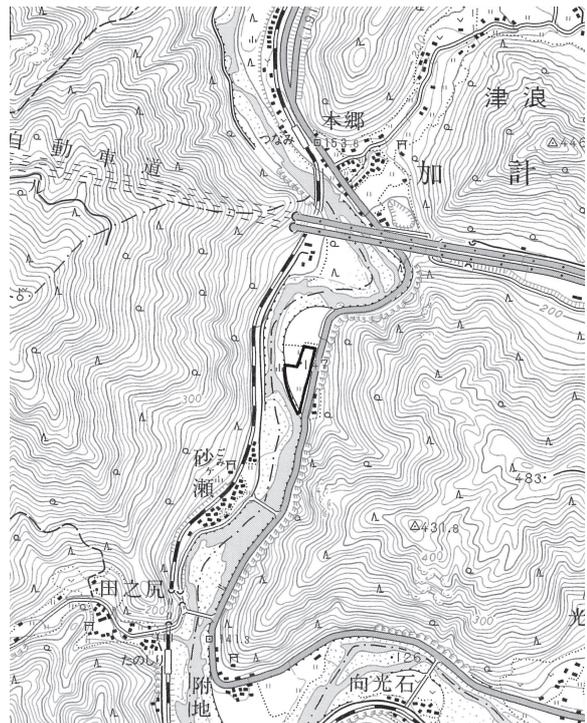
試掘対象地は太田川に面した沖積地である。調査は川からの比高が比較的高い場所に、6箇所の試掘坑を設定して実施した。基本層序は次のとおりである。

第Ⅰ層 黒褐色 (H2.5Y3/1) 砂。耕作土層

第Ⅱ層 黄灰色～にぶい褐色 (H2.5Y5/1～H7.5YR5/3) 砂。床土層

第Ⅲ層 浅黄色 (H2.5Y7/3) 粗砂。20～80cm 大の円礫・亜円礫を含む。しまりの弱い砂を主体とする水成堆積層。

第Ⅲ層の上面で遺構検出を行ったが、出土遺物・遺構とも確認できなかったことから、当地は埋蔵文化財包蔵地でないと判断した。



第21図 砂利採取事業に係る試掘調査地点 (山県郡安芸太田町大字津浪) 位置図 (国土交通省国土地理院発行1:25,000 地形図「坪野」図幅を使用)

## 8 砂利採取事業に係る試掘調査 (山県郡安芸太田町大字加計, 安芸太田町教育委員会を支援)

所在地：山県郡安芸太田町大字加計

開発事業者：民間企業

調査期間：平成23年11月15日から平成23年11月16日まで

調査対象面積：1,707m<sup>2</sup>

調査結果：埋蔵文化財包蔵地は確認できなかった。

協議経緯：

開発事業者から協議を受けた安芸太田町教育委員会と当教育委員会が現地踏査を実施した結果、周辺地域では太田川沿いの沖積面・河岸段丘上・扇状地等の緩傾斜地において、縄文時代から中世にかけての埋蔵文化財包蔵地が確認されており、当該地についても同様の遺跡が存在する可能性が考えられたことから、埋蔵文化財の有無等を確認するための試掘調査が必要と判断した。また、試掘作業については、対象面積が広い一方、開発事業計画との関係で迅速な対応が必要となったこと等の事情から、当教育委員会が支援することとなった。

調査概要：

試掘対象地は太田川に面した沖積地である。試掘坑を2箇所設定して発掘を実施した。両試掘坑とも土層の堆積状況はほぼ共通しており、次のようにまとめることができる。

第Ⅰ層 水田耕作土層。暗灰色砂混じり粘土。

厚さ約20cm。

第Ⅱ層 水成堆積と推測される層。大きく次の2層に細分可能。

第Ⅱa層 灰色系の砂。最上部は細粒砂，下部は粗粒砂主体で，漸移的に粒径が変化する。最上部は鉱物沈着の影響で褐色が強くなる。厚さ5～30cm程度。

第Ⅱb層 径50cmくらいまでの垂角礫を多く含む褐色砂。

遺構検出作業は第Ⅱa層上面と第Ⅱb層上面で行ったが、遺構・遺物とも確認できなかった。第Ⅱ層を構成する堆積物は、太田川あるいは後背(東側)の山塊から供給されたものと推測されるが、安定した堆積状況を呈していない。以上の結果に基づいて安芸太田町教育委員会と協議し、当地は埋蔵文化財包蔵地でないと判断した。



第22図 砂利採取事業に係る試掘調査地点(山県郡安芸太田町大字加計)位置図  
(国土交通省国土地理院発行1:25,000地形図「加計」図幅を使用)



a 店舗敷地造成に係る試掘調査（江田島市教育委員会支援）対象地近景（北西から）



b 同 土層



c 砂利採取事業に係る試掘調査（安芸太田町教育委員会支援、大字津浪）対象地近景



d 同 土層



e 砂利採取事業に係る試掘調査（安芸太田町教育委員会支援、大字加計）対象地近景



f 同 土層

図版12 市町支援試掘調査地 調査状況

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	へいせいにじゅうさんねんどひろしまけんないいせきはつくつちょうさ（しょうさいぶんぷちょうさ）ほうこくしょ							
書名	平成23年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書							
編著者名	恵谷泰典，沖 憲明，渡邊昭人							
編集機関	広島県教育委員会事務局管理部文化財課							
所在地	〒730-8514 広島県広島市中区基町9番42号 TEL082-513-5023							
発行年月日	西暦2013年3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	発掘期間	確認面積 m <sup>2</sup>	発掘 原因
にほんぎやまいせき 二本木山遺跡	しょうばらし 庄原市 ななつかちやう 七塚町	34210	1112	34° 43' 55"	132° 59' 05"	20110831 20110901 20110929 20110930	4,100	試掘・ 確認調査
所収遺跡名	種別	主な 時代	主な遺構		主な遺物	特記事項		
二本木山遺跡	その他の遺跡 (落し穴)	縄文	土坑(落し穴) 8基		なし			
要約	大規模開発事業等に先立ち，平成23年度に実施した埋蔵文化財の分布調査及び試掘・確認調査の成果を収録した。 24件の現地踏査等及び8事業15地点の試掘調査を実施した結果，1箇所の埋蔵文化財包蔵地を確認した。							

## 平成23年度広島県内遺跡発掘調査（詳細分布調査）報告書

編 集 広島県教育委員会事務局管理部文化財課  
 広島県広島市中区基町9番42号  
 TEL 082-513-5023

発 行 広島県教育委員会  
 発行日 平成25年3月31日

印 刷 シンセイアート株式会社